

宮前区地域福祉計画
策定にあたって

第1章

1 宮前区地域福祉計画とは

(1) 計画策定の趣旨・期間

人口減少や少子高齢化、核家族や単身世帯の増加による家族構成の変化、人々の価値観や生活スタイルの多様化、新型コロナウイルス感染症による地域のつながりの希薄化などによって、必要な支援が届かない世帯が多くあります。

さらに近年、介護と育児のダブルケア、高齢の親とひきこもりの子どもの社会的な孤立、障害や病気のある親に代わって家族の介護やケア、身の回りの世話を担う18歳未満の子どもなど、複数の分野にわたる課題を同時に抱える世帯の対応が求められています。

これらの課題は、住民一人ひとりの力だけで解決できるものばかりではありません。

隣近所をはじめとする身近な地域での助け合いや、地域で活動する団体、保健福祉に関わる事業者、公的機関などが協働・連携して課題解決に取り組むことが、「誰もが住み慣れた場所で安心して暮らせる地域づくり」のために大切となります。

宮前区では、平成16(2004)年度に第1期計画を策定し、今回の第7期計画は令和6(2024)年度から令和8(2026)年度までの3年間を計画期間として、地域福祉の向上をめざす取組を進めていきます。

計画期間と基本理念等の変遷

- 第5期計画 平成30(2018)年度～令和2(2020)年度
みんなで作ろう 地域の輪
 ～共につながり 支え合い 安心して暮らせる地域づくり～

- 第6期計画 令和3(2021)年度～令和5(2023)年度
みんなで作ろう ご近助のわ
 ～ゆるやかにつながり 安心して暮らせる地域づくり～

「ご近助」
 〓
 ご近所同士での
 支え合い



第7期の計画期間 令和6(2024)年度～令和8(2026)年度

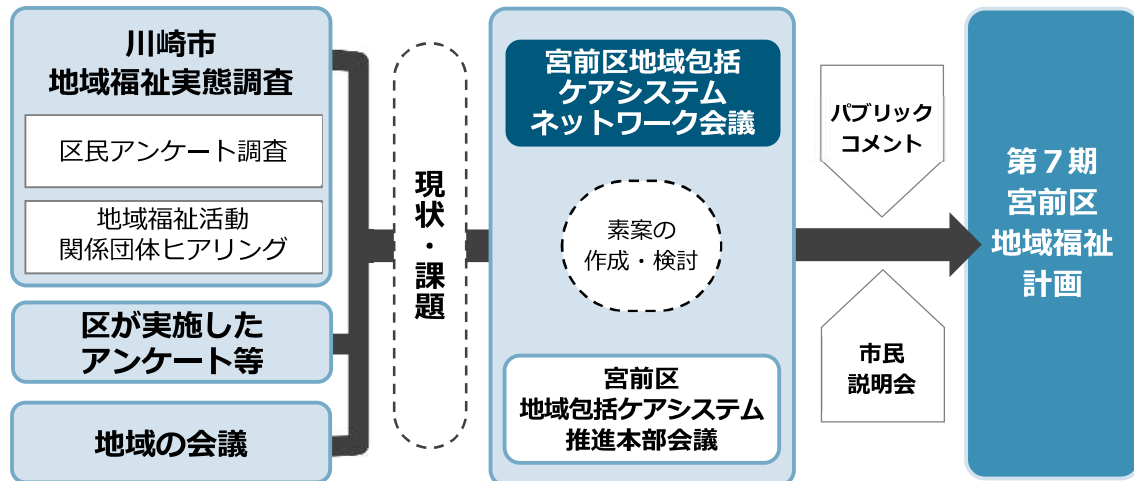
(2) 計画策定の流れ

宮前区地域福祉計画を策定するにあたり、川崎市が実施した「第6回川崎市地域福祉実態調査」や、宮前区が行った講演会・シンポジウム・アンケート、地域の会議で情報収集した意見等により、地域の現状と課題の把握を行いました。

そこで得られた課題や現状を踏まえて、学識経験者及び関係団体の代表者等で構成する「地域包括ケアシステムネットワーク会議」で、様々な視点から宮前区での地域福祉の推進に向けた理念や基本目標、取組のあり方などについて意見聴取を行いました。

それらをもとに、宮前区長を本部長とし、区役所の全部署で構成する「宮前区地域包括ケアシステム推進本部会議」で計画全体の方向性を確認し、計画の素案を作成しました。

素案をパブリックコメントや市民説明会で公表し、寄せられた意見を踏まえた検討を経て、この第7期計画を策定しました。



(3) 宮前区社会福祉協議会との連携

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき設置された民間の社会活動を推進するための団体で、都道府県、市区町村ごとに設置されており、住民組織、ボランティア、福祉関係機関（行政も含めた）等が集まり組織されています。

川崎市社会福祉協議会は、地域福祉の推進を目的とした民間の活動・行動計画である「川崎市社会福祉協議会地域福祉活動計画」を策定しており、その中で宮前区社会福祉協議会は区の活動計画を位置づけ、地域の個人や団体の力を合わせることで安心して暮らせる宮前区の実現をめざしています。

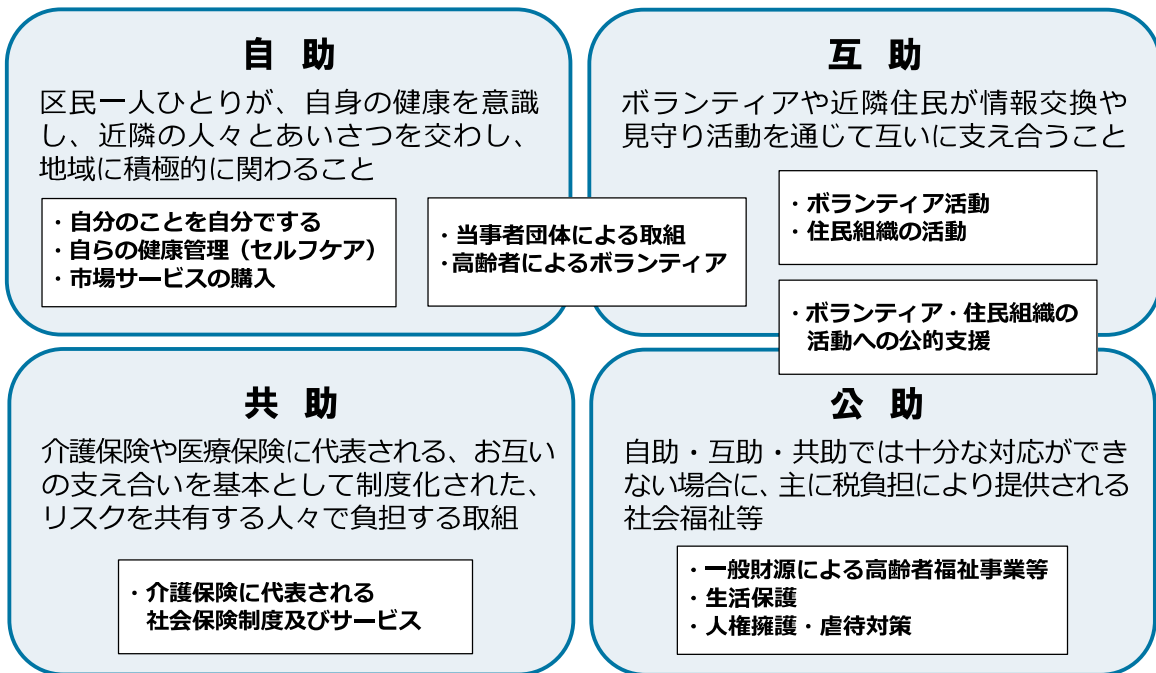
本計画の推進にあたっては、宮前区と宮前区社会福祉協議会が地域の課題や情報を共有し、連携して課題解決に取り組むことで、支え合いのまちづくりを進めていきます。

(4) 宮前区の地域包括ケアシステム

宮前区地域福祉計画は、川崎市の策定した「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」を上位概念として策定しています。

地域包括ケアシステム推進ビジョンがめざす「誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域」をつくるには、自助、互助、共助、公助が適切な組み合わせで行われることが重要です。

自助・互助・共助・公助の関係性



(5) 宮前区地域福祉計画とコミュニティ施策との関係

川崎市では、コミュニティの10年後の未来を描いた「希望のシナリオ」の実現に向けて、多様な主体の連携により、持続可能な暮らしやすい地域を実現するために、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」をまとめました。

この「基本的考え方」は、地域包括ケアシステム推進ビジョンの取組をコミュニティ施策の視点から支え、相互補完的に充実させる位置づけになります。

施策の1つとして、地域での課題解決や新しい価値を生み出す市民創発のプラットフォームとなる「ソーシャルデザインセンター」の創出が進められ、宮前区では令和5（2023）年6月に宮前区ソーシャルデザインセンター「みやまえBASE」が開設されました。

よりよい地域づくりに向けて、宮前区地域福祉計画とコミュニティ施策における各取組は、情報共有をしながら連携して推進していきます。

2 宮前区の地域の特徴

(1) 宮前区の概況

宮前区は、なだらかな丘が続く多摩丘陵の東の端に位置し、区内には、平瀬川、矢上川、有馬川の3つの河川が流れています。これらの川に挟まれて、丘陵、坂、谷戸などで構成された起伏に富んだ地形が特徴です。

明治22(1889)年の市制・町村制の施行に伴い、梶ヶ谷、野川、馬絹、有馬、土橋の各村と溝口村の飛地が合併された宮前村(みやさきむら)と、平、長尾、菅生、上作延の各村と下作延の飛地が合併された向丘村(むかおかむら)が誕生しました。両村は、昭和13(1938)年に本市に編入され、昭和47(1972)年に本市が政令指定都市となった際に高津区の一部となりましたが、昭和57(1982)年に分区し、現在の宮前区となりました。



平瀬川



ようごうじ
影向寺

区内には、弥生時代から古墳時代にかけての「東高根遺跡」や横穴式石室をもつ「馬絹古墳」など歴史的に貴重な史跡が残されています。また、奈良時代に建てられ、都の文化を伝えた「影向寺^{ようごうじ}」には国の重要文化財に指定されている「薬師如来三尊像」が安置されています。

昭和41(1966)年に東急田園都市線の溝の口から長津田までの延長、昭和43(1968)年の東名高速道路・東名川崎インターチェンジ開通・開設などにより交通網が整備されると、急激な人口増と都市化が進みました。一方、東高根森林公園や菅生緑地など区内には緑も多く、憩いの場として多くの人々が訪れ自然に親しんでいます。さらに、「カッパーク鷺沼」には、鷺沼ふれあい広場やフットサル施設「フロンタウンさぎぬま」などがあり、区のシンボルゾーンとして活用されています。



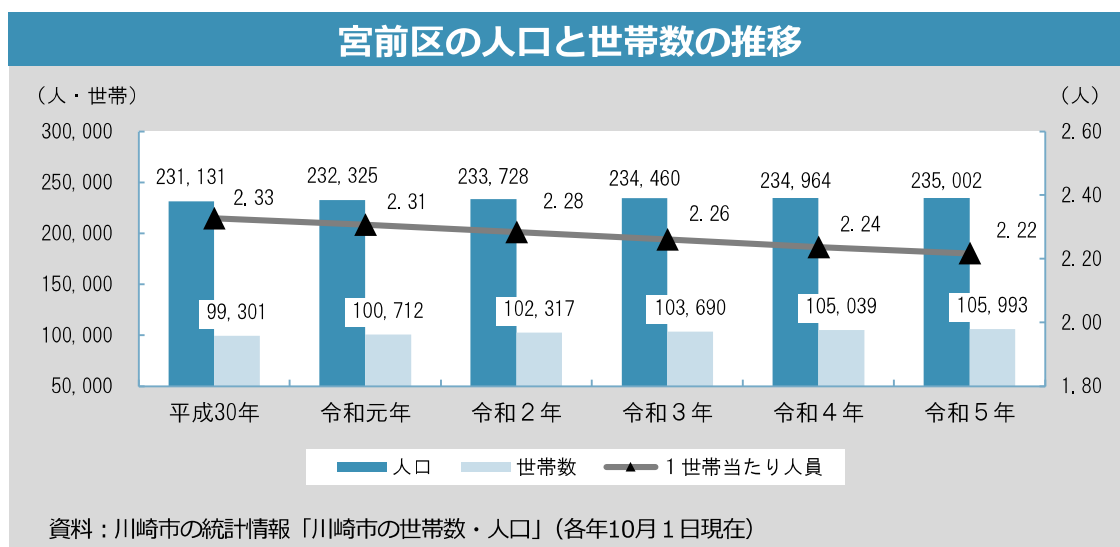
区の花 コスモス 区の木 サクラ

(2) 宮前区の地域福祉を取り巻く現状

1 人口と世帯数

1) 人口と世帯数の推移

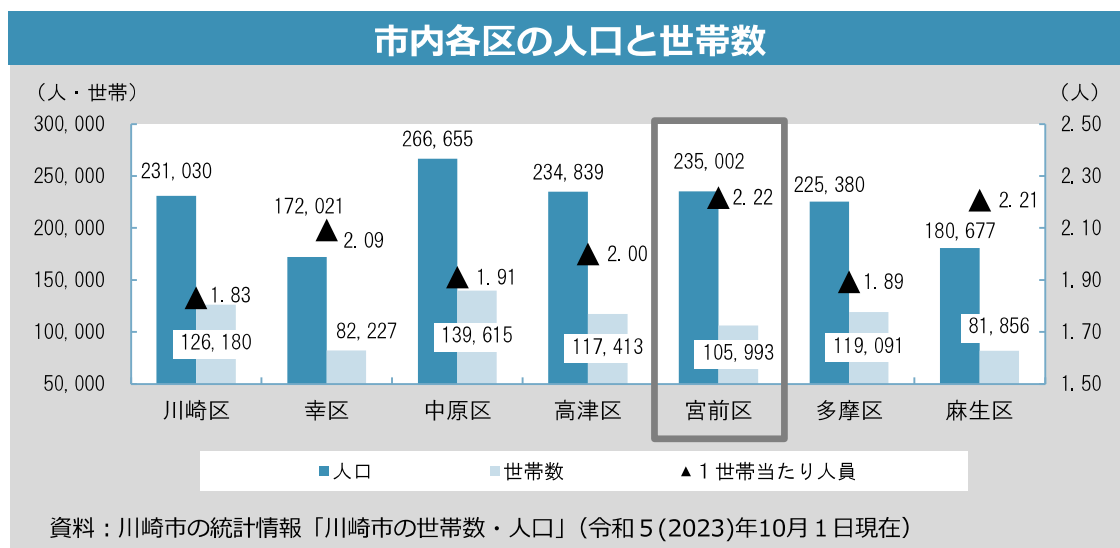
宮前区の人口は、令和5（2023）年10月1日現在で235,002人となっています。また、1世帯当たり人員は減少傾向にあり、令和5（2023）年10月1日現在で2.22人となっています。



2) 区別の人口と世帯数

川崎市の人口は、令和5（2023）年10月1日現在で1,545,604人、世帯数は772,375世帯です。

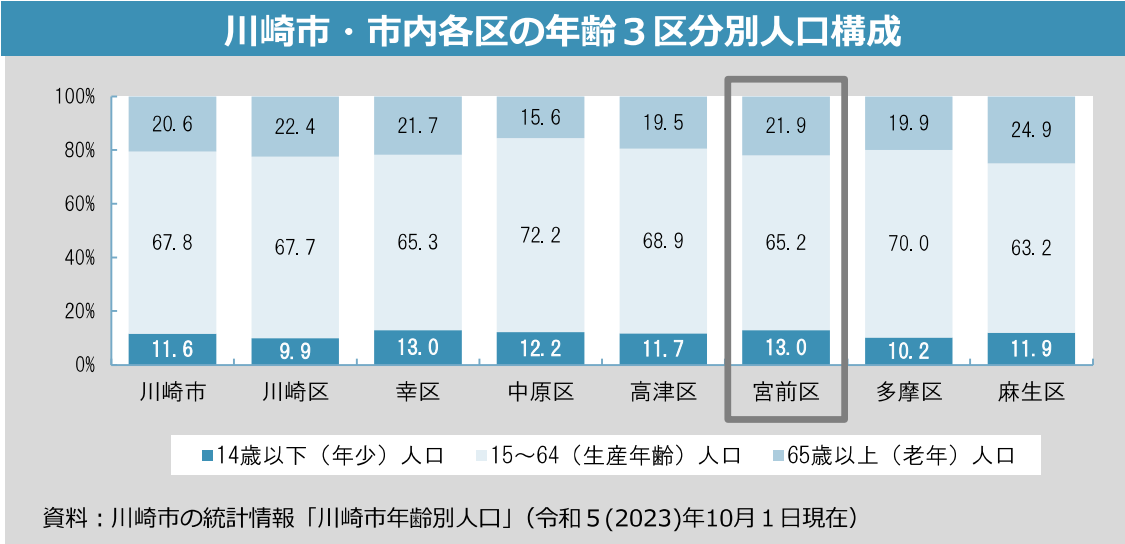
宮前区の人口は7区のうち2番目に多く、世帯数は5番目です。1世帯当たり人員は、7区のうち最も多くなっています。



2 人口構成と人口の推移

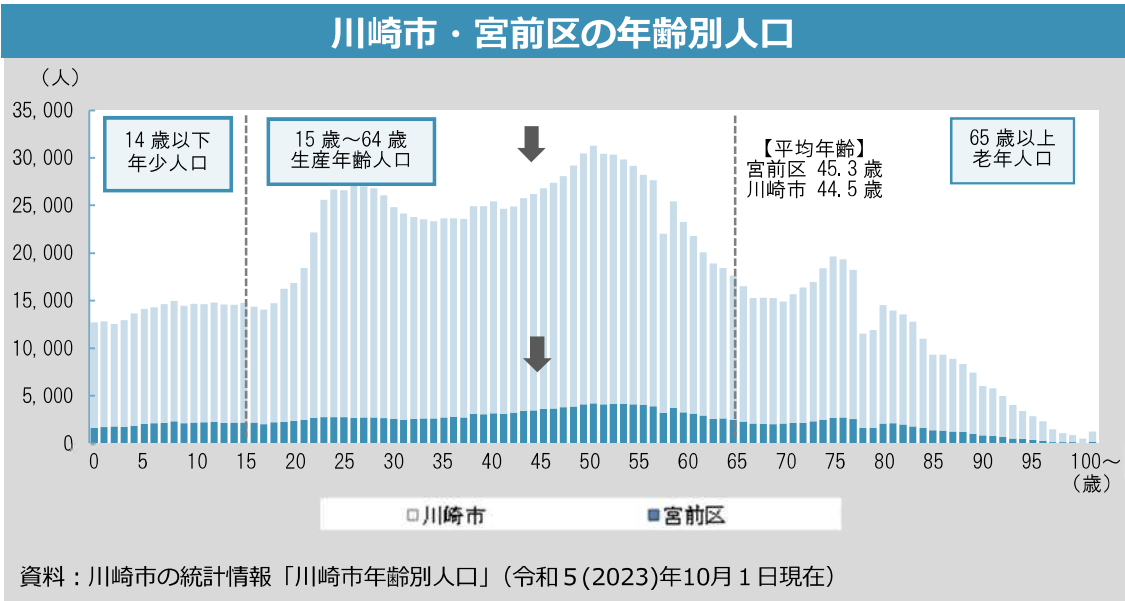
1) 市と各区の年齢3区分別人口構成

宮前区は、幸区と並んで市内で最も14歳以下人口の割合が高い区です。
 また、65歳以上人口の割合は、平成27(2015)年に初めて20%を超え、令和5(2023)年現在は21.9%と、7区のうち3番目に高くなっています。



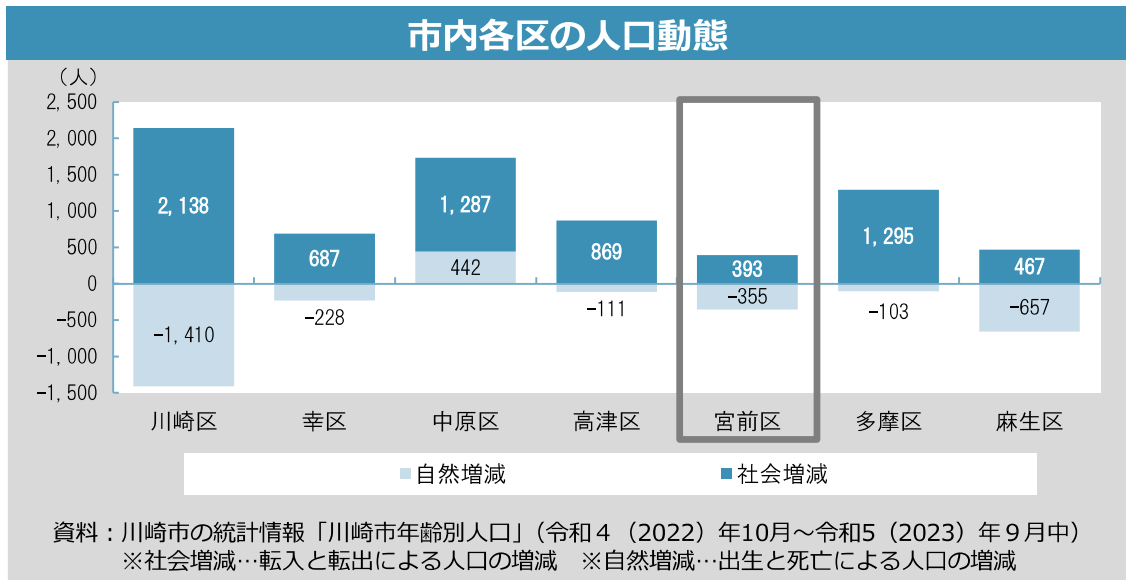
2) 宮前区の年齢別人口

宮前区の年少人口(14歳以下)は30,451人、生産年齢人口(15歳~64歳)は153,149人、老年人口(65歳以上)は51,402人となっており、平均年齢は市全体よりやや高く45.3歳となっています。



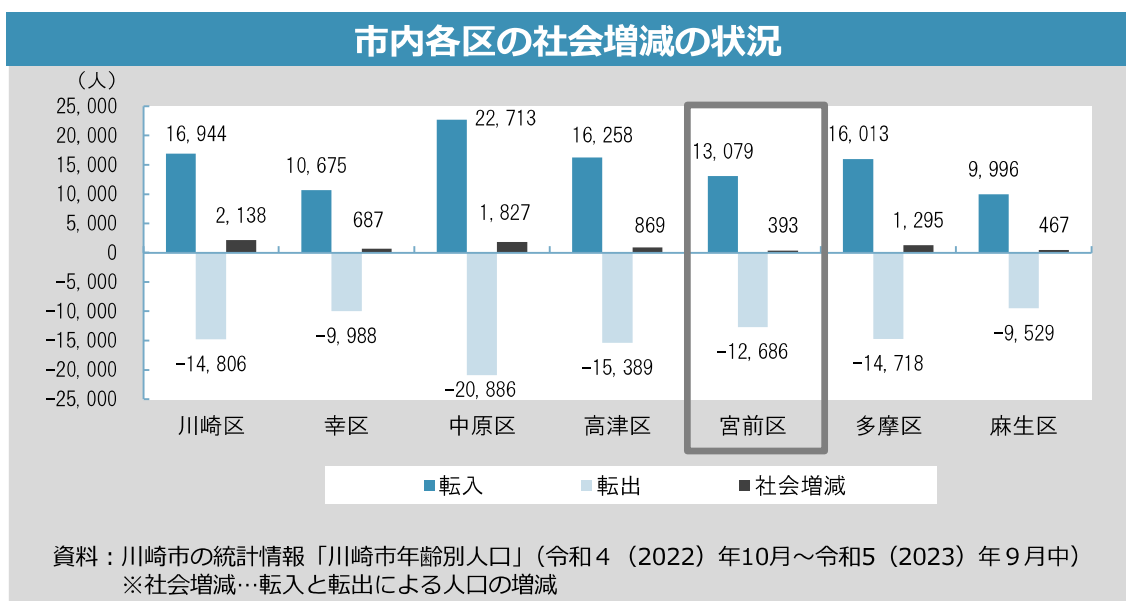
3) 川崎市内7区の人口動態

令和4（2022）年10月～令和5（2023）年9月中の人口動態は38人増で、転入が転出より多いことによる社会増加が、出生が死亡より少ないことによる自然減少を上回っています。



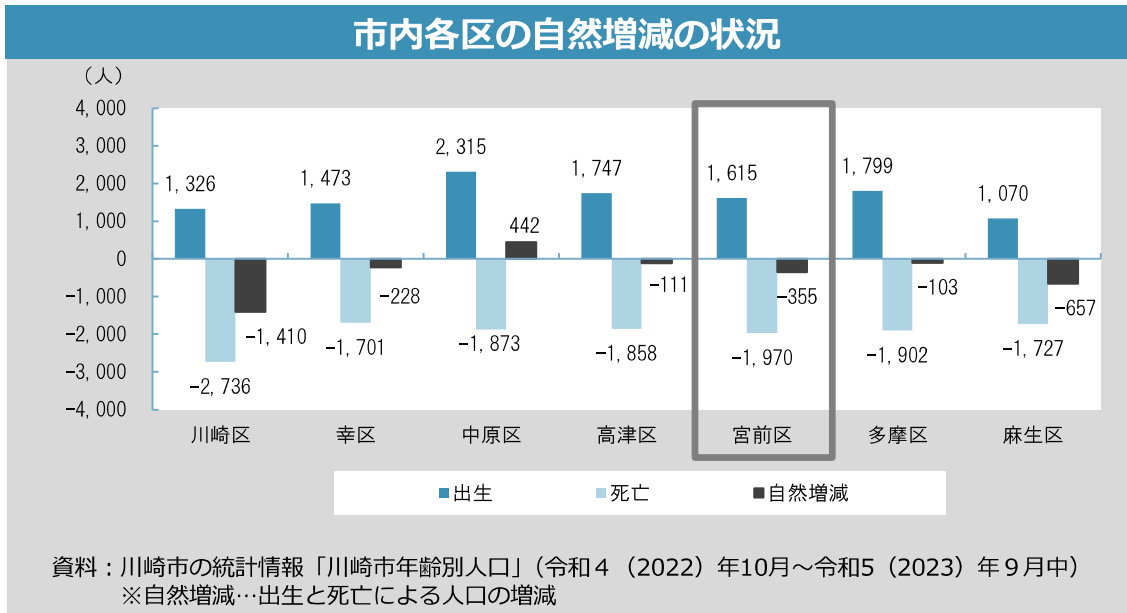
4) 転出入の状況（社会増減）

令和4（2022）年10月～令和5（2023）年9月中の転出入の状況を見ると、1年間で13,079人の転入、12,686人の転出があり、転入が転出を393人上回る社会増加となっています。社会増加の人数は、7区のうち最も少なくなっています。



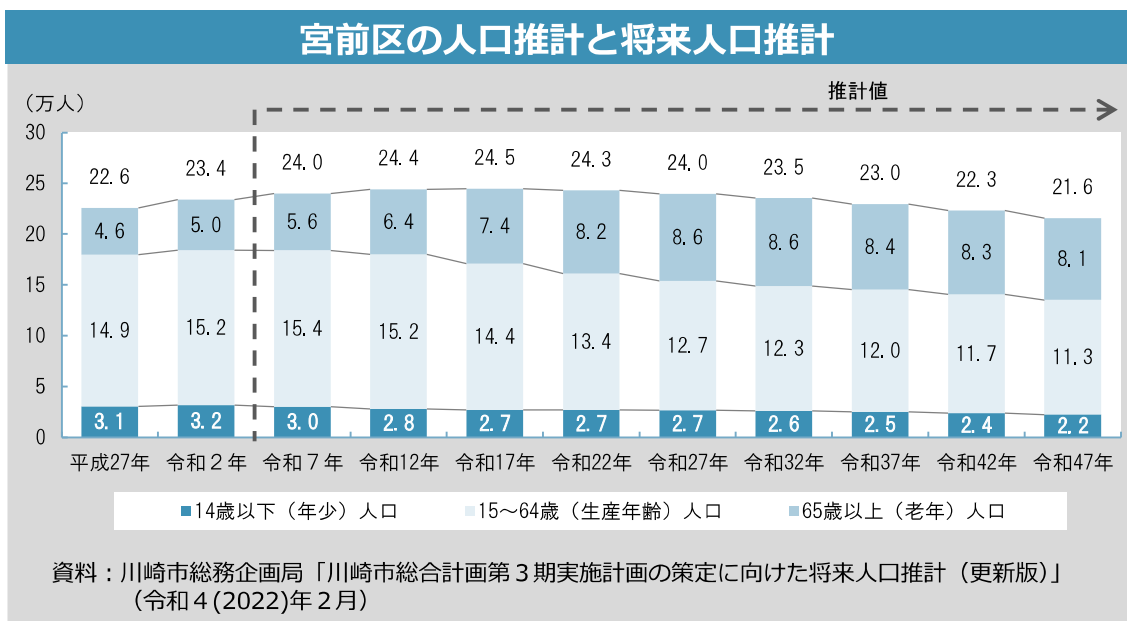
5) 出生・死亡の状況（自然増減）

令和4（2022）年10月～令和5（2023）年9月中の出生・死亡の状況を見ると、1年間の出生数は1,615人で、死亡数は1,970人となっており、出生数が死亡数を355人下回る自然減少となっています。自然減少の人数は市内で3番目に多くなっています。



6) 宮前区の人口推計と将来人口推計

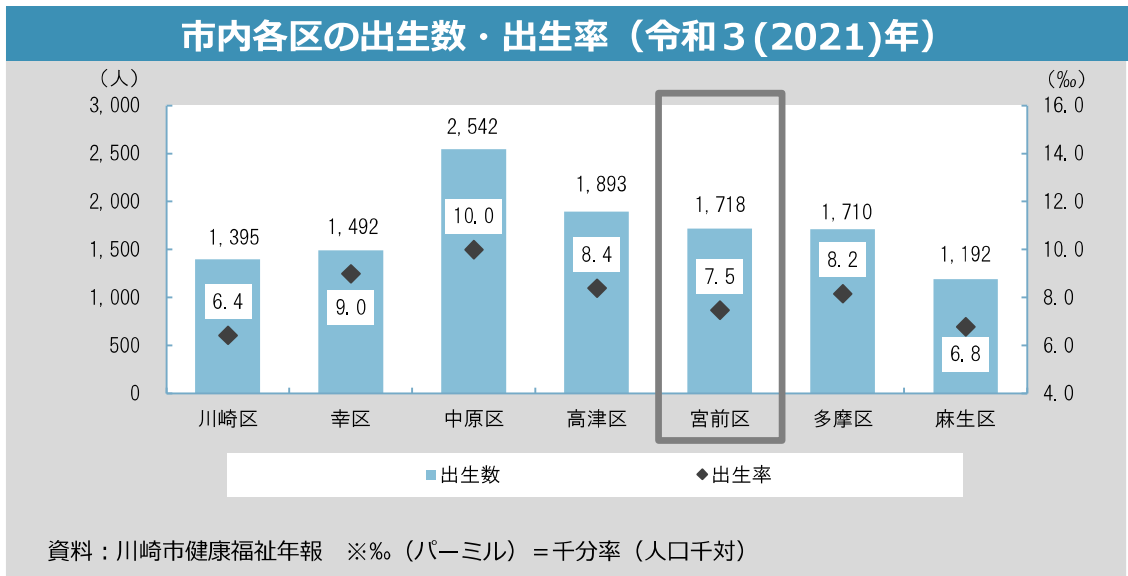
令和4（2022）年の将来人口推計によると、宮前区の人口は令和17（2035）年にピークを迎えると推計されています。15～64歳の生産年齢人口は令和7（2025）年にピークを迎えますが、65歳以上人口は令和32（2050）年まで増加が続くと推計されています。



3 出生数・出生率の推移

1) 区別の出生数・出生率

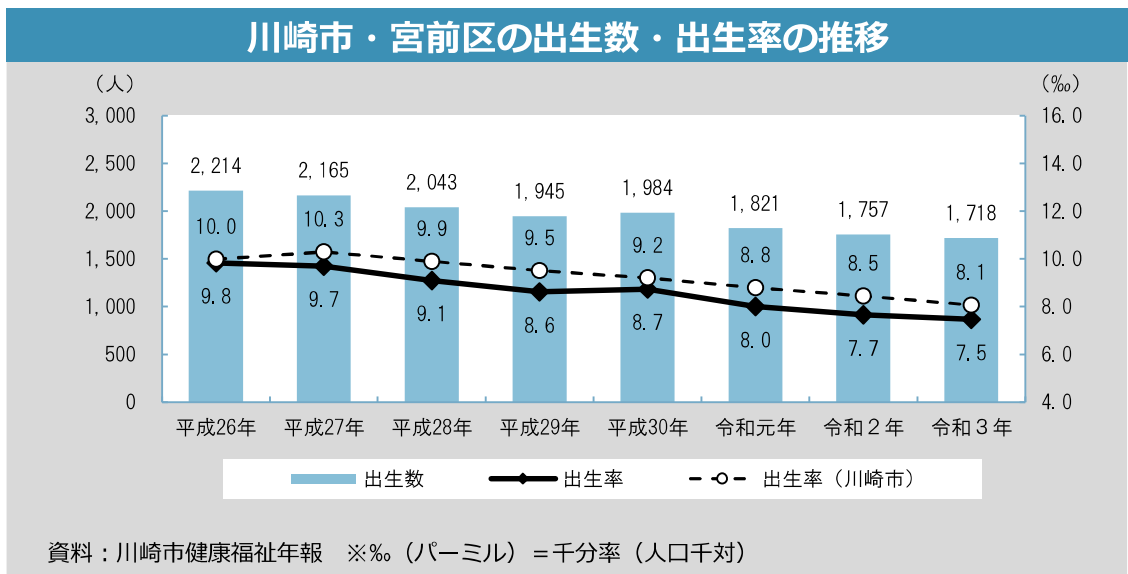
令和3（2021）年の出生数は1,718人で、7区のうち3番目に多くなっています。人口千人あたりの出生数を表す出生率は7.5%（パーミル）で、7区のうち3番目に低くなっています。



2) 出生数・出生率の推移

宮前区の出生数は、平成29（2017）年に2,000人を割り込み、平成30（2018）年以降は減少が続いています。

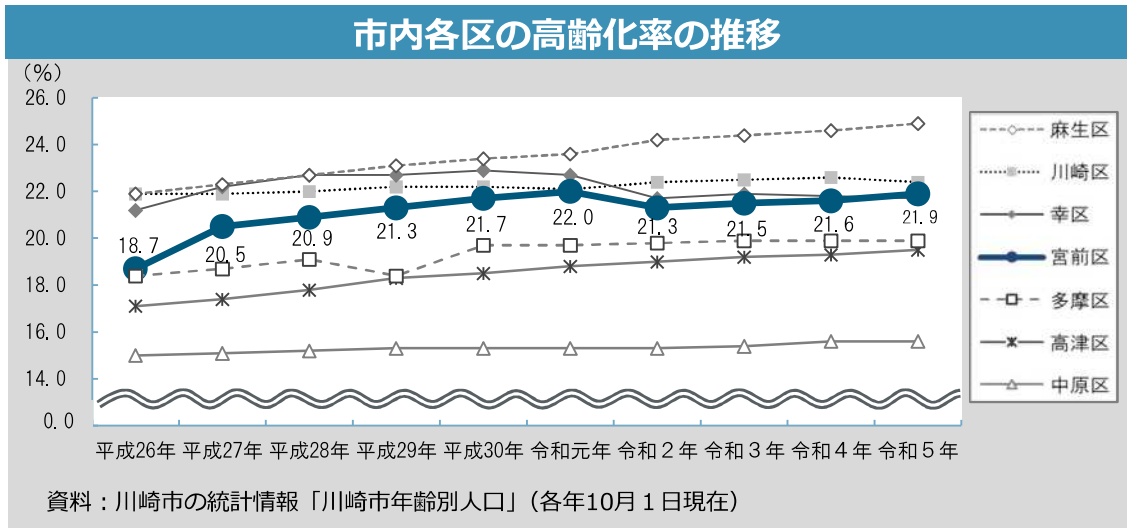
また、宮前区の出生率は、川崎市全体よりも低く推移しています。



4 高齢者の状況

1) 各区の高齢化率の推移

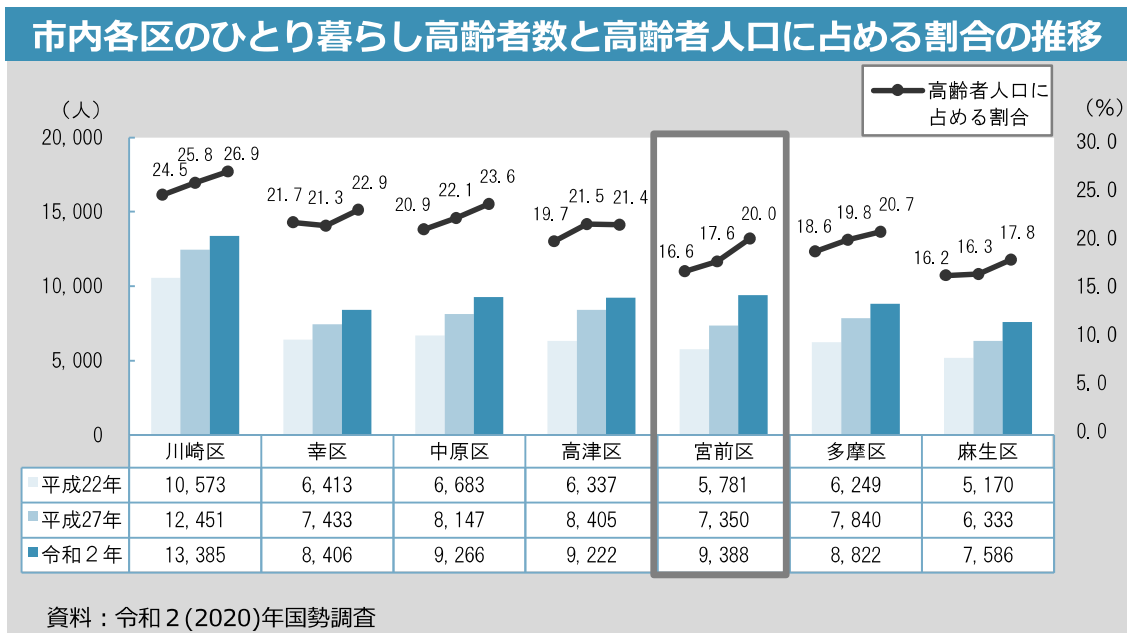
高齢者人口（65歳以上）が総人口に占める割合を表す高齢化率は、平成27（2015）年以降20%を超えており、令和5（2023）年には21.9%となっています。これは、7区のうち3番目に高いものです。



2) ひとり暮らし高齢者数と高齢者人口に占める割合の推移

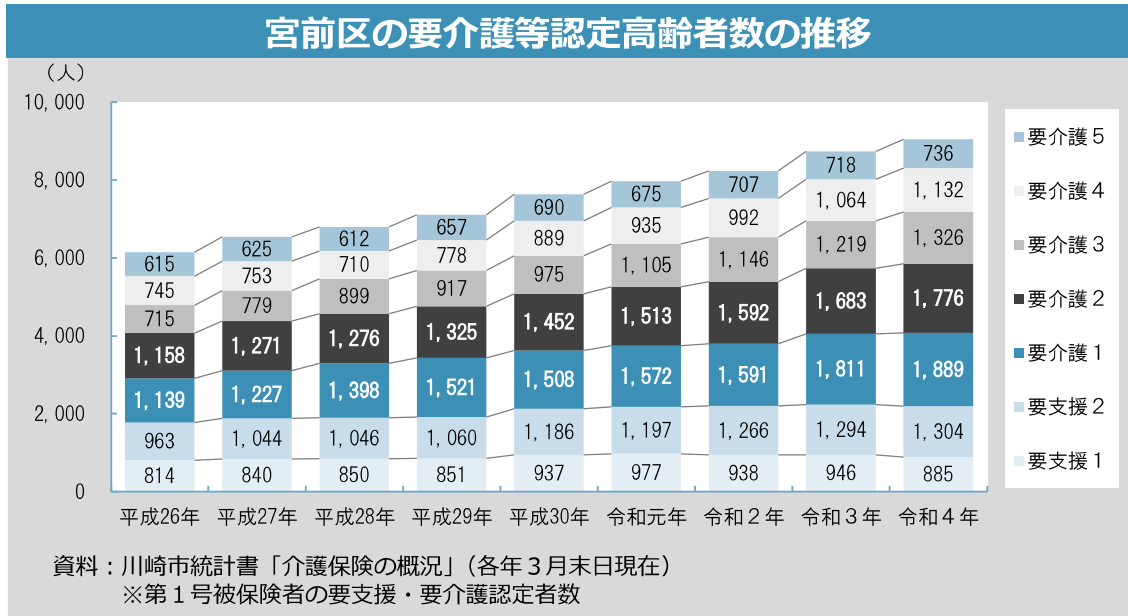
令和2（2020）年の宮前区のひとり暮らし高齢者数は9,388人で、川崎区に次いで多くなっています。平成27（2015）年と比べると、2,038人増加しています。

また、高齢者人口に占めるひとり暮らしの割合は20.0%となっており、7区のうち2番目に低くなっています。ひとり暮らしの割合は上昇傾向が続き、平成27（2015）年から2.4ポイント上昇しています。



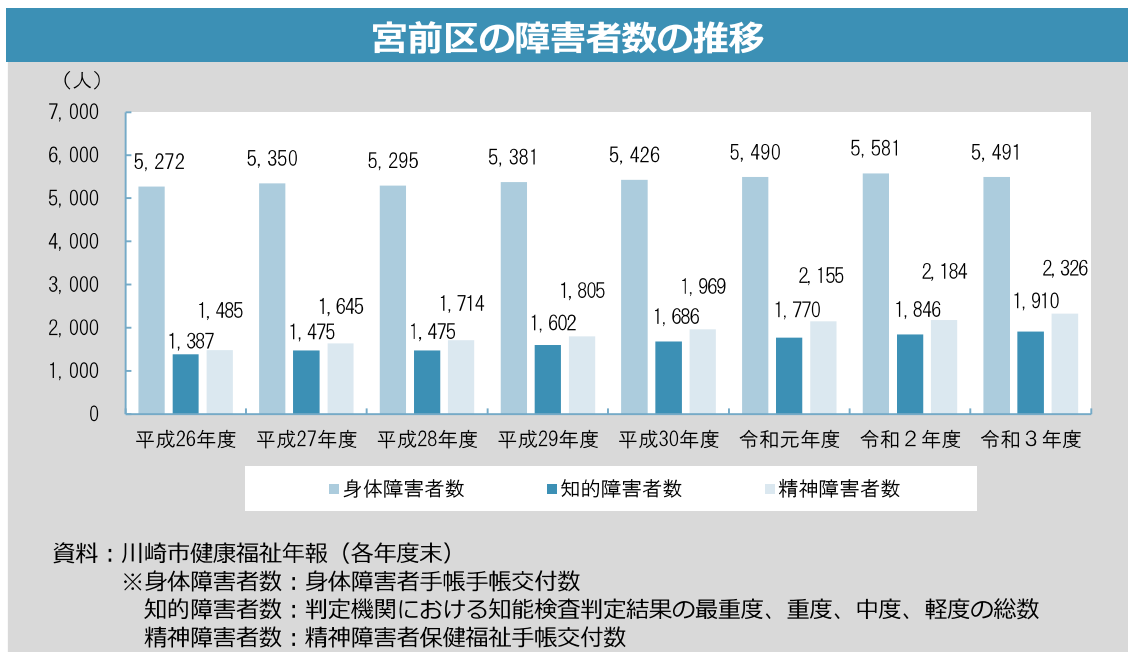
3) 要介護認定者数の推移

介護保険の要支援・要介護認定を受けた高齢者数は増加傾向にあり、令和4（2022）年3月末時点で9,048人となっています。



5 障害者の状況

令和3（2021）年度末で身体障害者数は5,491人、知的障害者数は1,910人、精神障害者数は2,326人となっており、知的障害者数と精神障害者数は増加が続いています。



6 児童虐待相談・通告の状況

令和3（2021）年度の児童虐待相談・通告件数は1,001件で、7区のうち2番目に多くなっています。

市内各区の児童虐待相談・通告件数受付状況

（区役所・児童相談所合計）

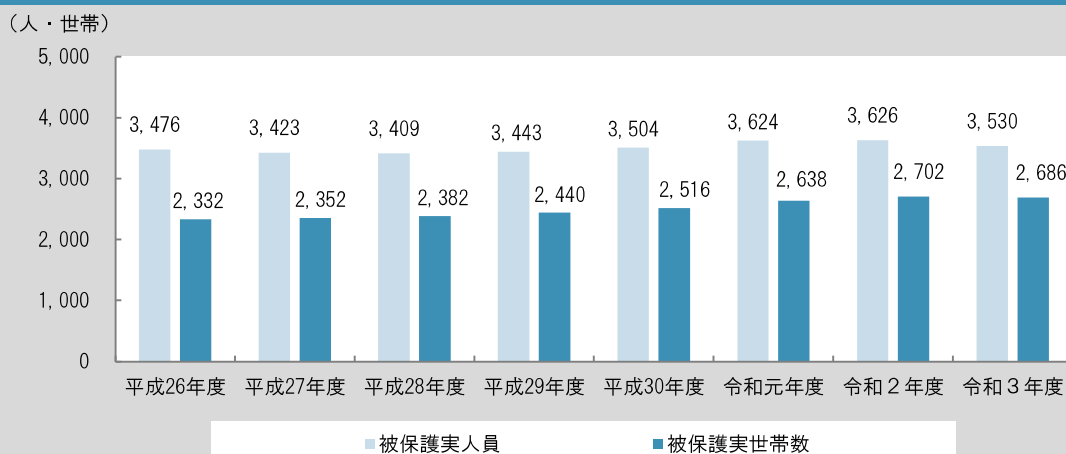
| | 川崎区 | 幸区 | 中原区 | 高津区 | 宮前区 | 多摩区 | 麻生区 | その他 | 計 |
|--------|-------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-------|
| 平成29年度 | 758 | 324 | 431 | 518 | 578 | 317 | 318 | 19 | 3,263 |
| 平成30年度 | 835 | 491 | 560 | 600 | 627 | 541 | 439 | 41 | 4,134 |
| 令和元年度 | 1,031 | 525 | 524 | 670 | 700 | 513 | 515 | 28 | 4,506 |
| 令和2年度 | 1,179 | 619 | 706 | 703 | 940 | 637 | 705 | 68 | 5,557 |
| 令和3年度 | 1,243 | 566 | 732 | 902 | 1,001 | 653 | 674 | 61 | 5,832 |

資料：川崎市子ども未来局「令和3年度川崎市における児童虐待相談・通告件数について」
※その他は、初期調査により管轄区外に居住していることが確認された件数。

7 生活保護の状況

令和3（2021）年度の被保護実人数は3,530人、被保護実世帯数は2,686世帯となっており、いずれも前年度から減少しています。

宮前区の生活保護被保護実人数と実世帯数の推移

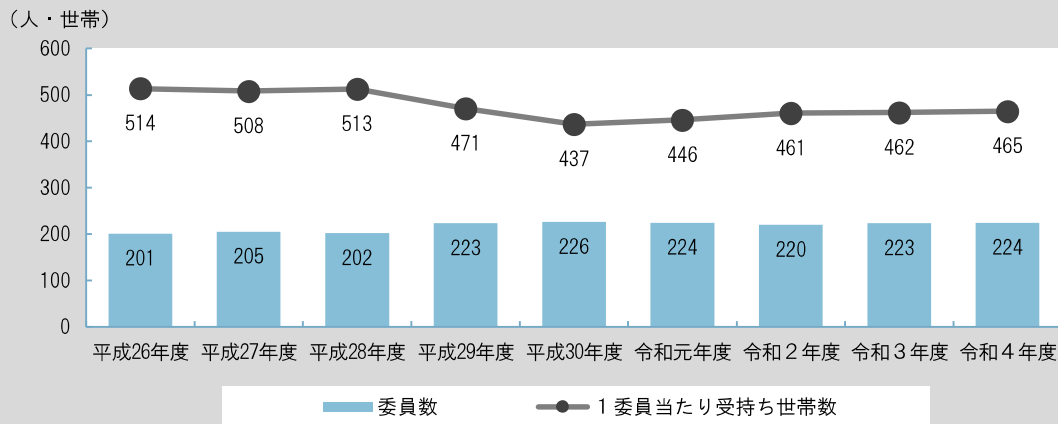


資料：川崎市統計書「生活保護の概況」（各年度月平均）

8 民生委員児童委員数等の状況

令和4（2022）年度の委員数は224人で、1委員当たりの受持ち世帯数は465世帯となっています。

宮前区の民生委員児童委員の1委員当たり受持ち世帯数の推移

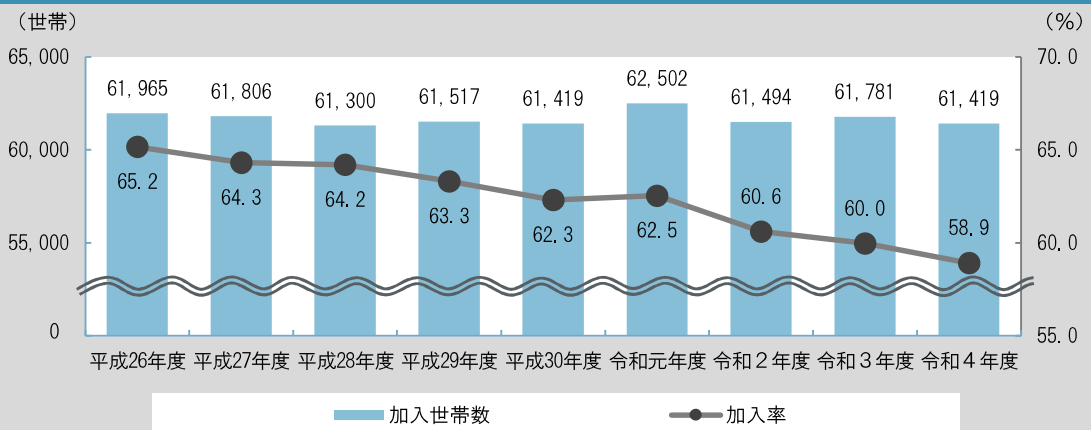


資料：川崎市統計書「民生委員・児童委員の概況」（各年度4月1日現在）

9 町内会・自治会への加入状況

町内会・自治会への加入世帯数は、令和4（2022）年度で61,419世帯となっています。総世帯数からみた加入率は減少しており、令和4（2022）年度は58.9%となっています。

宮前区の町内会・自治会への加入状況の推移

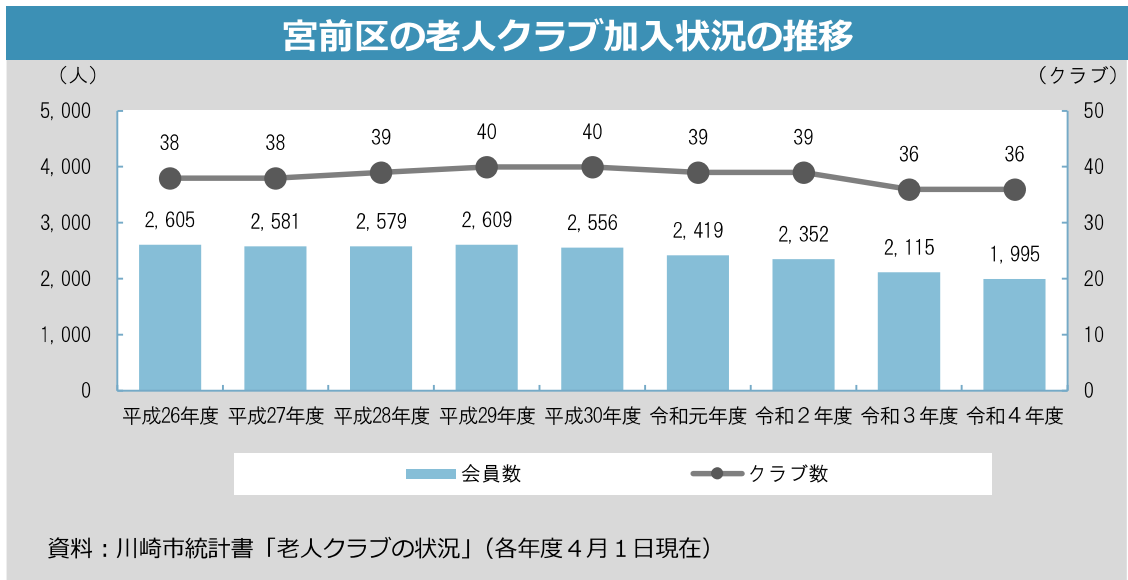


資料：川崎市統計書「住民組織加入状況」（各年度4月1日現在）

10 老人クラブの状況

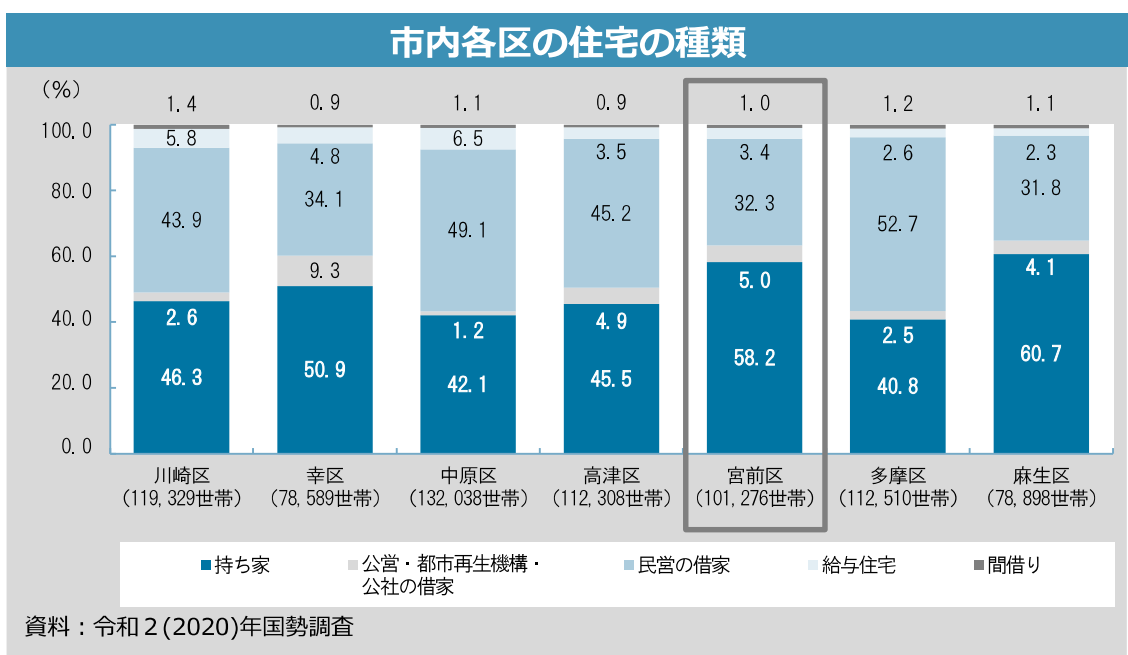
老人クラブの数は、平成30（2018）年度から減少し、令和4（2022）年度は36クラブとなっています。

会員数は、平成29（2018）年度から約600人減少し、令和4（2022）年度は1,995人となっています。



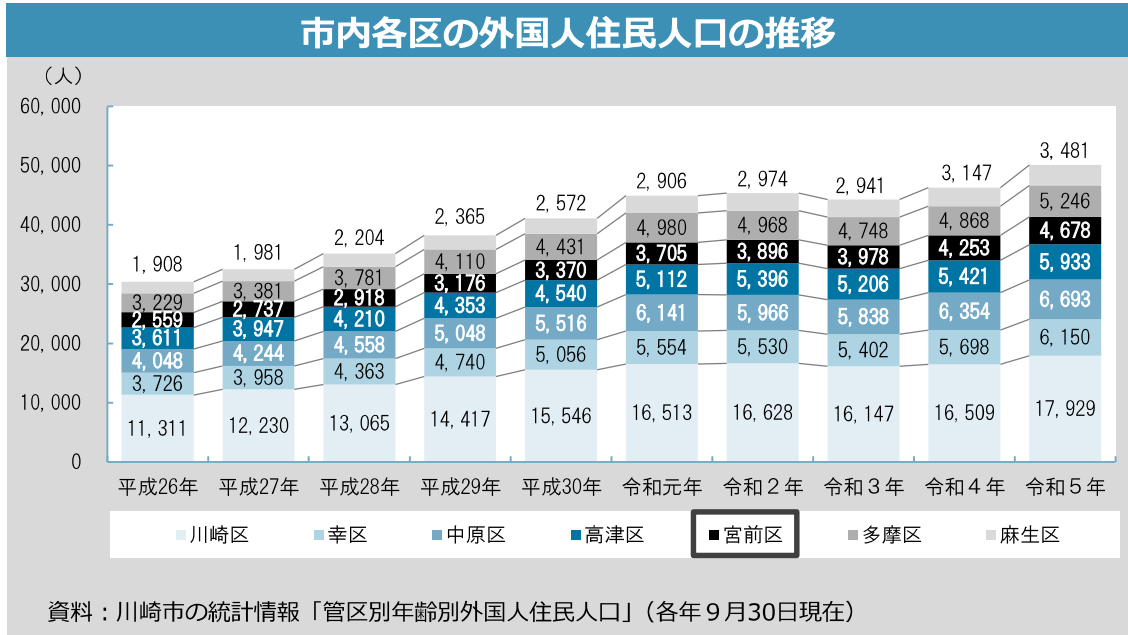
11 住宅の種類

住宅の種類は、持ち家が58.2%と7区のうち2番目に高くなっています。また、公営・都市再生機構・公社の借家は5.0%で、7区のうち2番目に高くなっています。



12 外国人住民人口の推移

宮前区の外国人住民人口は増加傾向にあり、令和5（2023）年9月30日現在、4,678人となっています。これは7区のうち2番目に少なく、市全体の9.3%となっています。



3 調査等から分かる宮前区民の状況

(1) 第6回川崎市地域福祉実態調査から分かること

川崎市では、「第7期川崎市地域福祉計画」の策定に向けて、地域の生活課題及び地域福祉活動の状況などを把握するため、令和4（2022）年11月～12月に「第6回川崎市地域福祉実態調査」を実施しました。（※調査の詳細は、資料編 P.103～112 参照）

本調査は、市民に対する「地域の生活課題に関する調査」と地域福祉活動を行う団体等に対する「地域福祉活動に関する調査」で構成されています。

1 「地域の生活課題に関する調査」から分かること

Q1 「地域」において、何が問題だと感じている？

| | |
|--|--------|
| 高齢者に関する問題（介護、権利擁護、生きがいづくり、見守りなど） | …33.4% |
| 地域防犯・防災に関する問題（交通安全、子どもの見守り、火の用心、防災訓練など） | …25.1% |
| 地域のつながりに関する問題 （近所づきあい、感染症による対面での交流の減少、人と人との関係が希薄など） | …20.3% |
| 子どもに関する問題（育児不安、子育て支援、教育、しつけ、遊び場づくりなど） | …20.1% |
| 適切な情報の入手に関する問題（情報が得られない、情報があることを知らないなど） | …14.5% |
| 障害児・者に関する問題（地域生活支援、権利擁護、活動支援、障害に対する理解など） | …9.7% |

分かること① 高齢者、地域防犯・防災、地域のつながりに関する問題への意識が高い

- ・「高齢者に関する問題」は7区では2番目に高く、市全体（30.8%）より2.6ポイント高い。
- ・「地域防犯・防災に関する問題」は7区では最も低いが、前回調査時（39.3%）に引き続き、高い割合となっている（前回調査：令和元年（2019）11月～12月実施。20歳以上の宮前区民323人の回答）。

Q2 助け合いができる「地域」の範囲は？

| | | |
|-----------|--------|--------------------------------------|
| 町内会・自治会程度 | …40.1% | } 町内会・自治会と隣近所を合わせると、 76.3%（約4分の3） |
| 隣近所程度 | …36.2% | |
| 小学校区程度 | …8.1% | ← 「小学校区程度」との回答は1割未満 |
| 区内程度 | …5.6% | |
| 中学校区程度 | …1.9% | |

分かること② 約4分の3が「町内会・自治会程度」や「隣近所」の範囲を、助け合いができる地域として捉えている

- ・前回調査時は、「隣近所」が「町内会・自治会程度」を2.2ポイント上回っていたが、「町内会・自治会程度」が「隣近所」より3.9ポイント高くなっている。

Q3 日頃の近所づきあいの程度は？

【近所づきあいの程度】

あいさつをする程度 …52.9% ときどき話をする程度…24.0%
ほとんどつきあいがいい…13.6%

【Q1「地域」において、何が問題だと感じている？】

地域のつながりに関する問題…20.3%

(近所づきあい、感染症による対面での交流の減少、人と人との関係が希薄など)

分かること③ 近所づきあいは、約半数が「あいさつをする程度」 近所付き合いの希薄さについて問題意識がある

- ・「あいさつをする程度」は、前回調査時（50.2%）から2.7ポイント増加。
- ・「ほとんどつきあいがいい」は、市全体（16.9%）より3.3ポイント低い。
- ・「地域のつながり」は、地域において問題だと感じているもののうち3番目に高い。

Q4 近所づきあいや地域住民同士の交流の必要性は？

地域で助け合うことは大切であり、

そのためにもふだんからの交流は必要だ …18.4%

いざという時に助け合いたいので、

多少面倒でもふだんから交流しておいた方がよい…26.5%

困った時は当然助け合うべきだが、

日ごろの交流は面倒なのであまりしたくない …44.8%

交流の必要性を
認識している人は
44.9%（約半数）

分かること④ 近所づきあいや交流について、約半数が必要性を認識している

- ・「ふだんからの交流は必要」は、前回調査時（26.0%）から7.6ポイント減少している一方、「多少面倒でもふだんから交流しておいた方がよい」は0.8ポイント増加し、市全体（23.1%）より3.4ポイント高い。
- ・「日ごろの交流は面倒なのであまりしたくない」は、前回調査時（37.2%）から7.6ポイント増加。市全体（40.5%）より4.3ポイント高い。

Q5 家庭生活で感じる不安は？

【一緒に暮らしている家族】

同居している65歳以上の方がいる …34.4%

【家庭生活の中での不安】

身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない …42.1%

介護が必要な家族を家庭で介護できる自信がない …28.7%

経済的に生活できるか不安である …28.1%

分かること⑤ 高齢化を背景に、自分の身の回りのことや家族の介護が不安

- ・「身の回りのことが、いつまで自分でできるかわからない」は、前回調査時（38.1%）から4.0ポイント増加し、市全体（40.4%）より1.7ポイント高い。
- ・「同居している65歳以上の方がいる」は、7区では3番目に高い。

Q6 地域の人たちに手助けしてほしいこと、手助けできることは？

【手助けしてほしいこと】

| | |
|---------------|--------|
| 安否確認の見守り・声かけ | …43.7% |
| 災害時の手助け | …37.3% |
| ちょっとした買い物 | …27.6% |
| 炊事・洗濯・掃除などの家事 | …28.4% |

【回答者自身ができること】

| | |
|---------------|--------|
| 安否確認の見守り・声かけ | …56.8% |
| 災害時の手助け | …33.1% |
| ちょっとした買い物 | …28.4% |
| 炊事・洗濯・掃除などの家事 | …7.5% |

分かること⑥ 見守り・声かけや災害時の手助けは、「手助けしてほしいこと」「手助けできること」のどちらも高い

- ・安否確認の見守りや声かけは、前回調査時（53.9%）に引き続き、最も高い。
- ・「炊事・洗濯・掃除などの家事」は、「手助けしてほしいこと」では3番目に高い（28.4%）ものの、「手助けできること」では7.5%にとどまっている。

Q7 社会的不安や孤独、孤立の問題に対して、地域で取り組めることは？

| | |
|---------------------------------|--------|
| 地域住民による見守り訪問、声かけ運動、友愛訪問などの取組 | …44.3% |
| 電気、ガス、水道の検診や新聞や牛乳配達を活用した見守りの取組 | …37.3% |
| ごみ収集（ごみ出しが困難な高齢者等への支援や声かけ）による確認 | …30.9% |

分かること⑦ 地域住民による見守り、声かけや日常生活に関わる訪問機会を活かすことが大事

- ・地域住民による見守りや声かけは、前回調査時（58.5%）に引き続き、最も高い。
- ・電気、ガス、水道の検針や新聞や牛乳配達を活用した見守りは、前回調査でも約40%となっている。

Q8 保健や福祉に関する情報を得る方法は？

【保健福祉の情報の入手先】

| | | | |
|-------------|--------|----------------|--------|
| 市の広報 | …55.4% | インターネットのホームページ | …26.5% |
| 町内会・自治会の回覧板 | …24.0% | | |

【Q1「地域」において、何が問題だと感じている？】

| | |
|---|--------|
| 適切な情報の入手に関する問題（情報が得られない、情報があることを知らないなど） | …14.5% |
|---|--------|

【心配ごとの解決に必要なと思われること】

| | |
|------------------------|--------|
| 保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること | …38.4% |
|------------------------|--------|

分かること⑧ 必要な情報へのアクセスのやすさが望まれている

- ・心配ごとの解決に必要なと思われることのうち、「保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること」は、前回調査時（37.2%）から1.2ポイント増加。
- ・保健福祉の情報の入手先のうち、「インターネットのホームページ」は、前回調査時（21.7%）から4.8ポイント増加。

Q9 地域福祉を進めるため、市民が取り組むことは？

- 家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと …38.4%
- 地域での交流などを通して、住民同士の助け合いの意識を向上させること …34.0%
- 地域で困っていることや自分ができることを知らせる情報が集まる場をつくること…29.5%

分かること⑨ 「困りごとが言える関係づくり」や「助け合い意識の向上」、 情報を共有する地域の場が必要なことを認識している

- ・「家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと」は、市全体で最も高く、前回調査時（31.9%）から 6.5 ポイント増加。

Q10 地域福祉を進めるため、行政が取り組むべきことは？

- サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実 …49.3%
- 福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示…39.1%
- 行政からの一元的な情報提供、相談の場づくり …34.9%
- ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成 …30.6%

分かること⑩ 行政には、福祉サービスに関する情報提供や対応への充実を求めている

- ・「サービスが利用できない、結びつかない人への対応の充実」は、前回調査時（37.5%）から 11.8 ポイント増加。
- ・「福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示」は、前回調査時（37.5%）から 1.6 ポイント増加。

Q11 地域活動やボランティア活動への参加の経験は？

【参加経験】

参加したことがない…44.0% 今は参加していないが条件が整えば参加したい…18.7%

⇒参加したことがない理由は？

- 仕事や家事が忙しく時間がない …54.4%
- 身近に活動グループや仲間がいない（知らない）…34.2%
- きっかけがつかめない …32.9%

⇒ボランティア活動に参加した動機やきっかけは？

- 自分たちのために必要な活動だから…35.3%
- 楽しそうだから…23.3%
- 家族・友人・知人から誘われたから…20.3%

⇒どのような状況になれば、参加する？

- きっかけがあれば…43.7%
- 活動する時間ができれば／興味を持てる活動があれば…ともに 31.0%

分かること⑪ 情報提供や周囲の促し等による「きっかけづくり」が有効

- ・「参加したことがない」は、前回調査時（46.1%）から 2.1 ポイント減少。
- ・「今は参加していないが条件が整えば参加したい」は、7区で最も高い。
- ・活動に参加した動機やきっかけが「楽しそうだから」は、7区で最も高い。
- ・「きっかけがあれば（参加する）」は、市全体（36.5%）より 7.2 ポイント高い。

2 「地域福祉活動に関する調査（団体アンケート）」から分かること

◇活動を行う中で困っていること

- ・新たなスタッフの確保
- ・スタッフの高齢化
- ・新型コロナウイルスなどの感染症を踏まえた対応
- ・他の団体との連携のための連絡調整
- ・若い世代の福祉に関する関心が低い

◇防災に関する意識と備え

- ・要援護者等をハザードマップ上に印をつけるなどリストアップし、災害発生時に連絡することで安否確認する体制をとっている
- ・会議等で防災について話し合いを実施
- ・消防法に従い年に2～3回防災訓練を実施
- ・防災資器材の点検の実施
- ・地域の方同士が助け合えるような防災の働きかけが必要
- ・地域住民に防災意識が根付いているのか分からないことが課題

◇広報について

- ・団体独自のチラシの他、ホームページやSNSの活用が増加
- ・新型コロナウイルス感染症をきっかけに、良い情報が来てもニーズのあるところに渡せていない
- ・地域活動を行っているが、発信する場がない人たちをつなげる取組が必要

◇団体の活動状況

- ・新型コロナウイルス感染症をきっかけに休止したままになっている活動がある
- ・他団体と定期的に交流や連携を図っているのは約4割
- ・「新たな活動を取り入れるなどして活動を活性化したい」団体が増加している一方、半数は「今の活動を維持することで精一杯」

◇地域の中で感じること

- ・活動に協力してくれていた人が転勤してしまうことが多い
- ・地域のつながりの希薄化
- ・認知症の理解と認知症患者への支援がまだ行き届いていない
- ・新たな取組を取り入れつつ、ついていけない人などの取りこぼしがないようにすることが必要

今後求められること

- 地域住民の地域福祉活動への関心を高めること
- さまざまな地域で防災訓練等を通じて防災意識を高めること
- 既存の広報に加え、WEBやSNS等の新たなツールを活用し、必要な情報が住民に伝わること
- 活動の担い手となる人材を集め、人材不足の解消と次世代の人材育成をめざすこと
- 対面での交流に配慮しながら、住民同士の交流を進めること
- 活動団体同士での交流や連携を図るための支援を行うこと

(2) 講演会・シンポジウム・アンケート等から分かること

1 宮前区地域包括ケアシステム推進講演会（令和3（2021）年度）

宮前区地域包括ケアシステム推進講演会×認知症サポーター養成講座フォローアップ研修 「認知症？」からはじまる一歩～当事者と支える人たちから学ぶ～

住み慣れた地域で自分らしい生活を行うため、認知症当事者、専門医、支援者から話を伺い、認知症に関する情報を伝えるとともに、地域包括ケアシステム推進に向けてどのようなことができるのか考える機会として講演会を開催しました。

参加者アンケート

◇認知症への理解の普及

- ・認知症についての基本的な知識や、早期発見・治療の方法を学び、地域の中での仲間づくりや相談できるところが必要であると知ることができた。
- ⇒これから増加が見込まれる認知症について、地域住民への知識・理解の普及を進め、地域で支える基盤を作ることが求められる。

◇当事者の経験談を活かした「自分ごと」としての捉え方への変化

- ・認知症のある当事者の実体験や社会参加の状況を直接聞くことにより、認知症になった場合の不安が軽減され、ケアされるだけでなく自分ができることを考える機会になった。
- ⇒当事者の経験を何うことにより、地域住民が認知症に対する理解をさらに深め、「自分ごと」として地域でできることを考えるきっかけづくりが求められる。

◇これからの生活に関わる講座の開催

- ・当事者の話を含めた認知症に関する講座や、高齢化に伴う制度や手続きに関する講座（成年後見制度、遺言、墓の問題、高齢者住宅、単身世帯の老後）のニーズがある。
- ⇒生活上の不安に即した講座の開催が求められる。

2 宮前区地域包括ケアシステム推進イベント（令和4（2022）年度）

あなたの「ふつう」はみんなの普通？

～いつもと違う視点から、いつもの社会を見てみよう～

日常生活を少し違った視点で捉え、地域の中で自分にできることを考える機会として、市民文化局と連携し、見て・聞いて・体験できるイベントを開催しました。

主なイベント内容

バリアフルレストラン

（もしも車いすユーザーと、立って歩く人の割合が逆転したら？
“障害は社会が作り出す”という「障害の社会モデル」の考えを体感できる）

ミニ講座

・認知症による「幻視」の世界 ～「麒麟模様の馬を見た」の著者が語る～
・耳の聞こえない人の五輪～デフリンピックが日本に！ など

体験コーナー（手話／音訳／幼児視界／車いす／高齢者／妊婦）

手話ソング／体操



バリアフルレストラン

講師・参加団体／関係職員アンケート

◇地域活動を知り、理解を深めることができた

【講師・参加団体】

- ・自分たちの活動を知ってもらえる機会になり、活動の利用者やボランティアの増加につながる。
- ・他の活動をきちんと知り、理解する場でもある。

◇異なる視点を体験することの効果が大きかった

【関係職員】

- ・体験の効果は、座学で学ぶことと大きく違うと感じた。
- ・複合イベントにすることで、一度に多くのことを体験できたり知識を習得することができる。
- ・講座は、オンラインでも十分に伝わるものがあり、事後に見られるものは当日参加できなかった人にもよいツールになる。

◇当事者が参加できるよい機会となった

【講師・参加団体】

- ・福祉サービスの利用者に、このようなイベントを見せてあげたい。
- ・保育園のイベントの一環として取り組むことができた。園児はたくさんの人に見ていただけて少し緊張気味だったが、とてもよい経験になった。
- ・コロナ禍で子供のイベントが全くなかったため、少しでも多く子供の成長が感じられるイベントに参加できて嬉しかった。

【関係職員】

- ・当事者や支援者の団体が多く参加し、関係団体同士のつながりが生まれるので効果的だと思う。
- ・企画運営の段階から、当事者団体等と一緒に取り組める仕組みを考えてもよい。

◇様々な人や事業とのつながりづくりの場となる可能性を感じた

【講師・参加団体】

- ・福祉の世界には支え合い、つながりが重要だが、横のつながりが薄い側面があり、「つながりの場」として続けてもらいたい。
- ・市民館で行われている障害のある方の活動サポートや人権学習の事業にも接点があると思われ、事業の連携が図れるとよいと思う。

【関係職員】

- ・子育て中の親子や学齢期の子供など、様々な立場の人に参加してもらえよう、広報や工夫が必要。
- ・関心のあるトピックだけでなく、その他の分野にも目を向ける機会になった。

今後求められること

- 地域の中の異なる立場の人を理解するために、日常生活の不便さを体験する機会や当事者の声を発信する場を作っていく。
- 幅広い世代へのイベントの周知のほか、イベント会場に出向くことのできない住民が何らかの形で参加できるよう、広報やオンラインなどの様々な情報提供の方法を活用していく。
- イベントを、参加する当事者や支援者の横のつながりを深める機会にしていく。

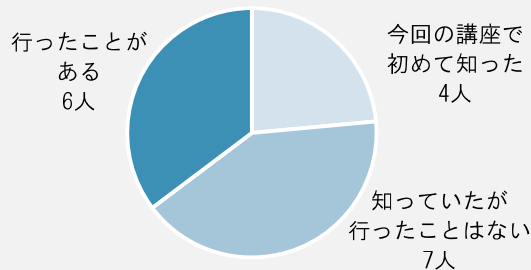
3 宮前区冒険遊び場 連続講座（令和4（2022）年度）

「快 と あそびで 子どもは育つ！」

冒険遊び場活動支援事業は、第2期区民会議の公園・地域づくり部会から出された提案のひとつ「冒険遊び場をひろめよう！」を受けて、平成23（2011）年からスタートしました。この事業は、公園を活用した地域コミュニティづくりを目的とするもので、地域の人たちが中心になって立ち上げる遊び場を、宮前区地域課題対応事業として区役所が支援しています。

令和4（2022）年度は、発達支援士でプレーパーク世話人でもある茂木厚子氏（発達支援「Kids Sense」主宰）を講師に招き、子どもの発達の論理的な内容や具体的な遊びの方法などを伺う連続講座を開催しました。

宮前区冒険遊び場の認知度と利用経験



参加者アンケート

◇親が安心して子育てをするための適切な知識や情報の提供

- ・子どもの本能、発達を理解して見守ること、応えていくことは大事だと思った。
- ・子どもの行動には意味があるということは、親にとって安心できることだと思った。

⇒核家族や共働き世帯の増加などを背景に、子育てに悩みを抱えている家庭が多くなっている。親が適切な知識を持ち、ゆとりを持って子育てができるよう、育児に関する情報を提供することが求められる。

◇子育て世帯が利用しやすい環境の整備

- ・子どもを保育園に入れるのがよいか悩むものの、自分でプレーパークに連れていくなど工夫して毎日を過ごすことは負担が大きい。
- ・子どもをひとりの「個」として向き合い、人間の土台づくりのために遊びを通していろいろな体験をさせてあげたい。
- ・冒険遊び場は、皆がそれぞれ好きに遊べて、親も子どものびのびできる。スタッフがたくさん子どもと遊んでくれて、親もホッとできる。

⇒保育園の整備や、親子で参加できる遊び場やイベントの開催など、子育てを支援する施設や活動の整備が求められる。

4 地域の会議等で情報収集した意見

地域の会議等に参加した職員から、地域の方々から出た意見などについてヒアリングを行いました。

◇外出・買い物・交通

- ・坂を歩くのがつらくなり、外出しなくなった。
- ・食料や日用品などの買い物が不便。
- ・バス停までが遠い。交通アクセスが悪い。

◇コミュニティカフェ・サロン

- ・人々が気軽に集まっておしゃべりできる場所が少ない。
- ・コロナ禍で活動を停止したカフェが多い。また、再開しても参加者が集まらない。

◇孤独・孤立

- ・高齢者単身世帯に健康上の問題が出た場合の不安がある。
- ・周囲とのつながりを拒否する人もいる。
- ・家族と同居していても孤立していることがある。

◇集合住宅

- ・公営住宅は高齢者が多く、エレベーターがないとごみ出しも大変。
- ・マンションに住んでいるが交流はほとんどない。

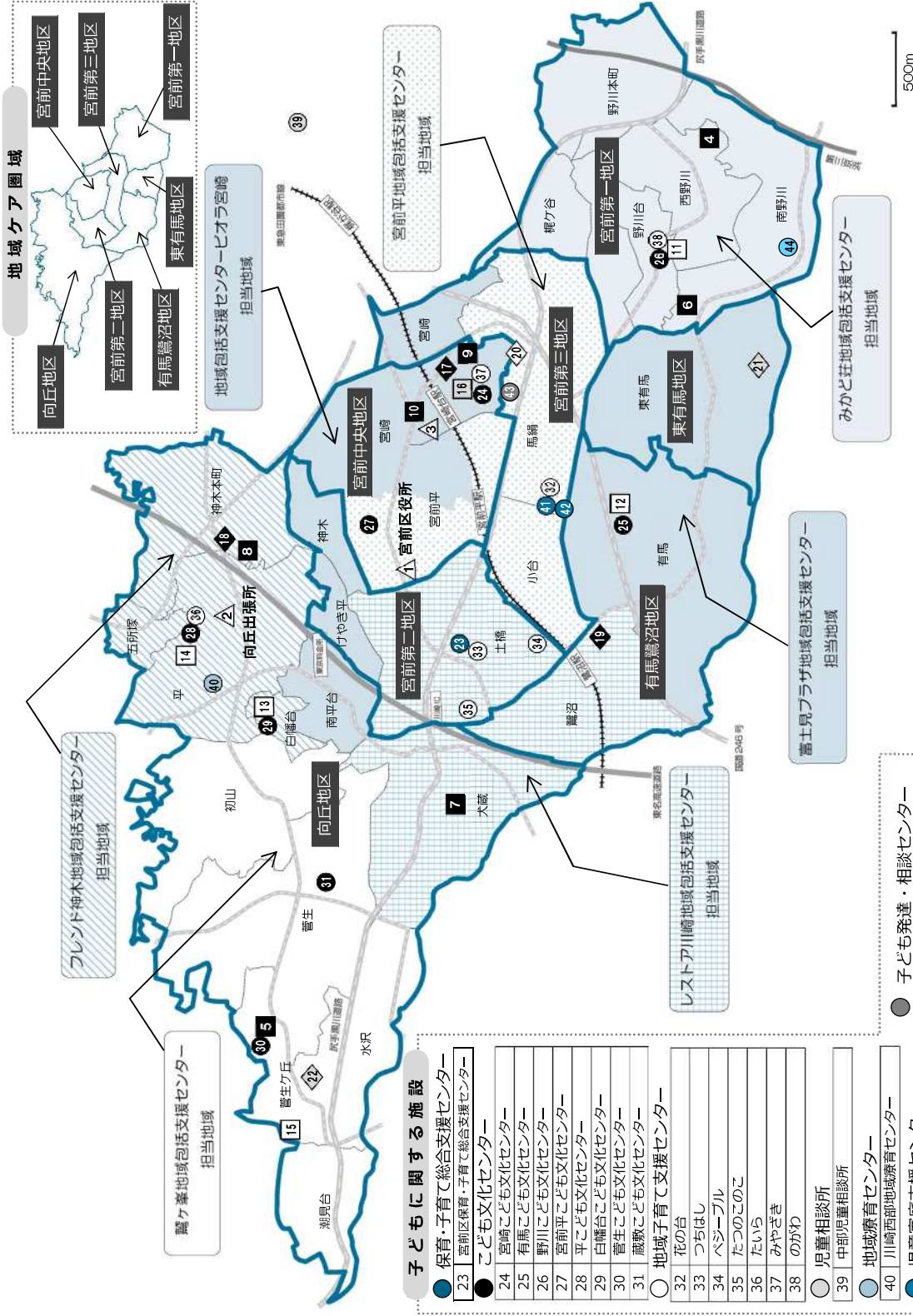
◇広報

- ・地域包括ケアシステムや地域福祉計画を知らない。具体的に何をすればよいのか分かるように広報して欲しい。
- ・調べなくても地域の情報や活動が分かるように。
- ・高齢者はインターネットやスマホでは情報が得にくい。

今後求められること

- 地域の実情に応じて、コミュニティバス、外出支援サービスや移動販売、宅配サービスなどの買い物支援を町内会・自治会、民間事業者等と連携して進めること
- カフェ等の集まれる場を分かりやすく知らせること、積極的な参加への声かけを行うこと
- ご近所同士の見守り意識の向上や、見守り支援サービスの普及啓発を図ること
- 防犯、防災、子育てをきっかけとして近隣との交流の必要性を伝えること
- 世代別に自分ができることや団体が地域のために行っている活動について、具体的な事例を交えながら多様な広報手段、場所で伝えていくこと

4 宮前区地域福祉マップ



行政機関・福祉機関等

- △ 行政機関・福祉機関等
- 1 宮前区役所
- 2 向丘出張所
- 3 宮前区社会福祉協議会

高齢者に関する施設

- 地域包括支援センター
- 4 みかど荘
- 5 鷲ヶ峯
- 6 富士見ブラザ
- 7 レストアノ崎
- 8 フレンド神木
- 9 宮前平
- 10 ピオラ宮崎

- いこいの家
- 11 野川いこいの家
- 12 有馬いこいの家
- 13 白幡台いこいの家
- 14 平いこいの家
- 15 鷲ヶ峰いこいの家
- 老人福祉センター
- 16 宮前老人福祉センター
(宮前いきいきセンター)

障害者に関する施設

- ◆ 障害者相談支援センター
- 17 地域相談支援センター-ポポラス
- 18 地域相談支援センター-れもん
- 19 地域相談支援センター-シロウス
- ◇ 障害者福祉拠点施設
- 20 まじわる宮前
- ◇ 障害者支援施設
- 21 れいんぼう川崎
- 22 障がい者支援施設みすさわ

子どもに関する施設

- 保育・子育て総合支援センター
- 23 宮前区保育・子育て総合支援センター
- こども文化センター
- 24 宮崎こども文化センター
- 25 有馬こども文化センター
- 26 野川こども文化センター
- 27 宮前平こども文化センター
- 28 平こども文化センター
- 29 白幡台こども文化センター
- 30 養生こども文化センター
- 31 鳳歌こども文化センター
- 地域子育て支援センター
- 32 花の台
- 33 つちはし
- 34 ベシーブル
- 35 たつのこのこ
- 36 ふいら
- 37 みやざき
- 38 のかわ
- 児童相談所
- 39 中部児童相談所
- 地域療育センター
- 40 川崎西部地域療育センター
- 児童家庭支援センター
- 41 まぎぬ児童家庭支援センター
- 児童養護施設
- 42 川崎愛楽園

- 子ども発達・相談センター
- 43 きつずサポート みやまえ
- こどもサポート施設
- 44 こどもサポート南野川

※所在地等の詳細は裏面に記載

【地域包括支援センター】

地域で暮らす高齢者を、介護、福祉、健康、医療などの様々な面から総合的に支援するための相談窓口です。電話や面談、訪問などによる相談を受けることができます。

| 施設名 | 所在地 | 電話 |
|--------------------|--------------------|--------------|
| 4 みかど荘地域包括支援センター | 西野川3-39-11 | 044-777-5716 |
| 5 鷲ヶ峯地域包括支援センター | 菅生ケ丘13-1 | 044-978-2724 |
| 6 富士見ラザ地域包括支援センター | 南野川1-8-11 | 044-740-2883 |
| 7 レストア川崎地域包括支援センター | 犬蔵2-25-9 | 044-976-9590 |
| 8 フレンド神木地域包括支援センター | 神木本町5-12-15 | 044-871-1180 |
| 9 宮前平地域包括支援センター | 馬絹6-20-4 | 044-872-7144 |
| 10 地域包括支援センターヒオラ宮崎 | 宮崎2-8-32コスモ宮崎台102号 | 044-948-5371 |

□ 【こいの家】

地域の高齢者のふれあいや生きがいの場となる施設です。入浴施設が利用できるほか、教養講座や健康づくり教室、会食などの様々な活動を行っています。

| | | |
|------------|------------|--------------|
| 11 野川こいの家 | 野川台1-25-23 | 044-788-2271 |
| 12 有馬こいの家 | 有馬4-5-2 | 044-855-2177 |
| 13 白幡台こいの家 | 白幡台1-13-1 | 044-976-0786 |
| 14 平こいの家 | 平2-13-1 | 044-865-1033 |
| 15 鷲ヶ峰こいの家 | 菅生ケ丘32-10 | 044-976-6418 |

□ 【老人福祉センター（いきいきセンター）】

川崎市内に住んでいる高齢者の生活や健康などに関する相談をお受けしています。また、健康増進、教養の向上のため、教養講座実施や趣味のサークル活動の場を提供しています。

| | | |
|---------------|-----------|--------------|
| 16 宮前老人福祉センター | 宮崎2-12-29 | 044-877-9030 |
|---------------|-----------|--------------|

◆ 【障害者相談支援センター】

障害者が地域で生活をしていく上での日常生活や就労などの様々な問題や悩みについて、電話や面談、訪問などによって支援し、解決のお手伝いをしています。

| | | |
|-------------------|---------------------|--------------|
| 17 地域相談支援センターホボラス | 宮崎2-13-35モア宮崎101 | 044-870-5236 |
| 18 地域相談支援センターれもん | 神木本町5-1-4エスベラソ宮前203 | 044-740-9043 |
| 19 地域相談支援センターシリウス | 鷲沼1-2-1安藤マンション403 | 044-920-9105 |

◇ 【障害者福祉拠点施設】

障害者の地域生活を支援する機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受入・対応、専門性、地域の体制づくり等）が集約された拠点です。

| | | |
|------------------------------------|-----------|--------------|
| 20 まじわる宮前（生活支援センターきまっし、あーる工房、こころん） | 馬絹6-10-33 | 044-855-1011 |
|------------------------------------|-----------|--------------|

◇ 【障害者支援施設】

障害者の支援を行う施設です。

| | | |
|-----------------|-----------|--------------|
| 21 れいんぼう川崎 | 東有馬5-8-10 | 044-888-8601 |
| 22 障がい者支援施設みずさわ | 水沢3-6-50 | 044-978-3238 |

● 【保育・子育て総合支援センター】

保育所と地域子育て支援センターの2つの機能を備えた施設です。保育士、看護師、栄養士等による子育て家庭の支援や保育関係施設との連携・人材育成など、子育てと保育を総合的に支援します。

| | | |
|----------------------|----------|--------------|
| 23 宮前区保育・子育て総合支援センター | 土橋2-14-1 | 044-856-3290 |
|----------------------|----------|--------------|

● 【こども文化センター】

0歳～18歳の子どものための、いつでも自由を訪れて遊べる施設です（乳幼児は保護者同伴）。子育てサークルなどのグループが部屋を借りて活動しています。また、毎月いろいろな子ども向けの催しを行っています。

| 施設名 | 所在地 | 電話 |
|-----------------|------------|--------------|
| 24 宮崎こども文化センター | 宮崎1-7 | 044-888-2755 |
| 25 有馬こども文化センター | 有馬4-5-2 | 044-855-2166 |
| 26 野川こども文化センター | 野川台1-25-23 | 044-788-2202 |
| 27 宮前平こども文化センター | 宮崎6-2 | 044-855-1884 |
| 28 平こども文化センター | 平2-13-1 | 044-865-1032 |
| 29 白幡台こども文化センター | 白幡台1-13-1 | 044-977-8600 |
| 30 菅生こども文化センター | 菅生ケ丘13-2 | 044-976-0444 |
| 31 蔵敷こども文化センター | 菅生5-3-21 | 044-977-2577 |

○ 【地域子育て支援センター】

地域全体で子育て家庭を応援するための施設です。子育てに関する相談や講座の開催など、子育て家庭に関する情報を得ることができるとともに、子育てをする親同士の交流や子ども遊び場の利用ができます。

| | | |
|----------------------|------------|---------------|
| 32 地域子育て支援センター花の台 | 馬絹1-24-9 | 044-860-2416 |
| 33 地域子育て支援センターつちほし | 土橋2-14-1 | 044-855-1751 |
| 34 地域子育て支援センターベジータブル | 土橋3-1-6 | 044-888-7503 |
| 35 地域子育て支援センターたつのこのこ | 土橋4-7-1 | 044-920-9222 |
| 36 地域子育て支援センターたいら | 平2-13-1 | 070-5089-2051 |
| 37 地域子育て支援センターみやざき | 宮崎1-7 | 070-5024-8525 |
| 38 地域子育て支援センターのがわ | 野川台1-25-23 | 070-5020-6458 |

○ 【児童相談所】

子ども（18歳未満）のより健やかな成長と幸せのため、児童福祉法に基づき設置された専門の相談機関です。お子さんの養育、障害、性格行動、非行、不登校等に関して専門スタッフがご家族と一緒に問題解決にあたりまします。また、児童虐待に関わる相談・通報を受け付けています。

| | | |
|------------|------------|--------------|
| 39 中部児童相談所 | 高津区久木1-4-1 | 044-877-8111 |
|------------|------------|--------------|

● 【地域療育センター】

障害やその心配のある子どもを対象に、早期発見・早期療育、各種療育相談、巡回訪問などを行い、地域みまもり支援センターや医療機関、児童相談所、保育園、幼稚園などの関係機関とも連携を図りながら、子どもとその家族を専門的かつ総合的に支援する施設です。

| | | |
|-----------------|--------|--------------|
| 40 川崎西部地域療育センター | 平2-6-1 | 044-865-2905 |
|-----------------|--------|--------------|

● 【児童家庭支援センター】

児童の子ども（0歳～18歳未満）の子育てに関する相談をお受けする施設です。児童養護施設などに併設されています。

| | | |
|------------------|----------|--------------|
| 41 まぎぬ児童家庭支援センター | 馬絹1-24-5 | 044-863-7855 |
|------------------|----------|--------------|

● 【児童養護施設】

環境上養護を必要とする児童（0歳～18歳未満）を入所させ、擁護し、自立を支援する施設です。

| | | |
|----------|----------|--------------|
| 42 川崎愛児園 | 馬絹1-24-5 | 044-855-2591 |
|----------|----------|--------------|

● 【子ども発達・相談センター】

発達に心配のある子どもに関する相談を受け、特性に応じた対応方法や福祉サービスを考える施設です。保護者の同意を得た上で保育所や幼稚園、学校などと連携するほか、未就学児については必要に応じセンター内の児童発達支援事業所等を活用しながら支援します。

| | | |
|-----------------|-----------------|--------------|
| 43 きつずサポート みやまえ | 馬絹6-6-9フューモビル1F | 044-863-7505 |
|-----------------|-----------------|--------------|

● 【こどもサポート施設】

地域の子どもたち（18歳まで）が元気に豊かにすこやかに育つための居場所です。不登校などの課題をもった子どもたちの居場所づくり、生活・学習支援のほか、子ども・子育て相談を受け付けています。

| | | |
|---------------|------------|--------------|
| 44 こどもサポート南野川 | 南野川12-12-1 | 044-755-7602 |
|---------------|------------|--------------|

5 地区の概況

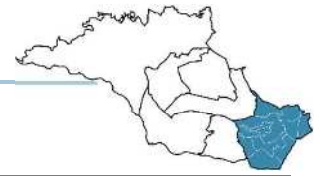
川崎市では、各区において、地区カルテ等を活用した地域マネジメントを一層推進していくため、これまでの地域みまもり支援センターの地区担当エリアの状況や、社会福祉協議会との更なる連携を踏まえ、地域の状況を把握するための基本的な単位を44地区に分け、「地域ケア圏域」として位置付けており、宮前区では次の7つの圏域となっています。

※「計画推進における圏域の考え方」は、P.15 参照



| 地域ケア圏域 | 対象地域 |
|--------|---|
| 宮前第一地区 | 梶ヶ谷、西野川1～3丁目、野川本町1～3丁目 野川台1～3丁目、南野川1～3丁目 |
| 宮前第二地区 | けやき平、神木1～2丁目、土橋1～7丁目 |
| 有馬鷺沼地区 | 有馬1～9丁目、鷺沼1～4丁目 |
| 東有馬地区 | 東有馬1～5丁目 |
| 宮前第三地区 | 小台1～2丁目、馬絹1～6丁目、宮崎（大塚町内会地域） |
| 宮前中央地区 | 宮崎1～6丁目、宮前平1～3丁目、宮崎（大塚町内会地域を除く） |
| 向丘地区 | 犬蔵1～3丁目、五所塚1～2丁目、潮見台、神木本町1～5丁目 白幡台1～2丁目、菅生ヶ丘、菅生1～6丁目、平1～6丁目 南平台、初山1～2丁目、水沢1～3丁目 |

(1) 宮前第一地区



1 地区の概況

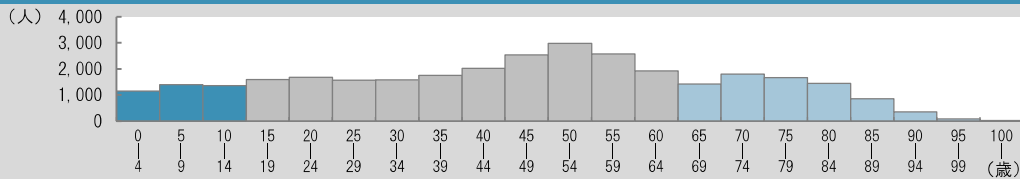
| | |
|--------|--|
| 対象の町丁名 | 梶ケ谷、西野川1～3丁目、野川本町1～3丁目、野川台1～3丁目、南野川1～3丁目 |
| 地理的特徴等 | 宮前区の東端に位置し、高津区と横浜市都筑区に隣接する。 |
| 住環境 | 広い台地と川沿いの平地、傾斜地がある地区で、近年急速に宅地開発が進んだ。大小多数の公園や緑地など、自然が多く農地もある。 |
| 交通 | 鷺沼駅や梶が谷駅、宮前平駅、武蔵小杉駅、溝の口駅などへ向かう複数のバス路線がある。 |

2 地区の統計データ

人口・世帯数と年齢3区分別人口割合

| | | | |
|----------------|---------|----------|----------|
| 総人口 | 31,872人 | 世帯数 | 14,666世帯 |
| 14歳以下(年少)人口 | 3,920人 | 年少人口割合 | 12.3% |
| 15～64歳(生産年齢)人口 | 20,265人 | 生産年齢人口割合 | 63.6% |
| 65歳以上(老年)人口 | 7,687人 | 高齢化率 | 24.1% |

5歳刻み人口グラフ



資料：川崎市の統計情報「町丁別世帯数・人口」及び「町丁別年齢別人口」(令和5(2023)年9月末日現在)

3 地区の地図



4 社会資源一覧

| この地区を支える団体 | | |
|-----------------------------------|-----------------|--|
| 町内会・自治会 | | 梶ヶ谷金山町内会、県営野川南台団地自治会 野川台自治会、野川本町町内会、西野川町内会 東野川・南野川町内会、野川西団地自治会 |
| 地区社会福祉協議会 | | 宮前第一地区 |
| 民生委員児童委員協議会 | | 宮前第一地区 |
| この地区の住民が相談できるところ | | |
| 高齢者 | | みかど荘地域包括支援センター |
| 障害者 | | 地域相談支援センターシリウス |
| 子ども | | 中部児童相談所（高津区） 川崎西部地域療育センター 宮前区保育・子育て総合支援センター |
| この地区の子どもたちが通う学校 | | |
| 小学校 | | 野川小学校、西野川小学校、南野川小学校 梶ヶ谷小学校（高津区） |
| 中学校 | | 宮崎中学校、野川中学校 |
| この地区にある主な施設 | | |
| 主な 公的施設 | 警察署・消防署 | 野川交番 野川出張所 |
| 高齢者関係施設 | | 野川いこいの家 |
| 障害者 関係施設 | 地域活動支援 センター | 宮前フレンズ |
| 子ども 関係施設 | こども文化 センター | 野川こども文化センター |
| | 地域子育て 支援センター | 地域子育て支援センター のがわ |
| | こども サポート施設 | こどもサポート南野川 |
| 生活支援体制整備事業 ^(※) 実施施設 | | デイホーム川崎宮前 |

この地区で行われている一部の活動は、宮前区ご近所情報サイト『みやまえご近助さん』に載っています。

※使い方は
P.74 を見てね！



※生活支援体制整備事業

多様化する住民の生活支援ニーズ等に対応するため、地域との関係づくりや、さまざまな支援に取り組んでいる介護事業所に、市からの委託により生活支援コーディネーターを配置し、小地域の中で、個別支援と地域支援を有機的につなぎ合わせながら、人と場、さらには人と生活をつなぐ取組を進めています。

(2) 宮前第二地区



1 地区の概況

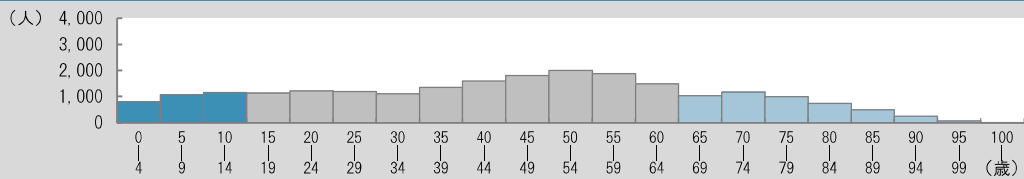
| | |
|--------|---|
| 対象の町丁名 | けやき平、神木1～2丁目、土橋1～7丁目 |
| 地理的特徴等 | 宮前区の中央部に位置する。東名高速道路が西部にあり、尻手黒川道路と東名川崎ICで接続している。 |
| 住環境 | 区画整理された戸建て住宅、マンション等が混在する。 |
| 交通 | 南部は鷺沼駅と宮前平駅に近く、北部は宮崎台駅と鷺沼駅を結ぶバス路線があり、一部任意の場所で降車できるフリー降車区間もある。 |

2 地区の統計データ

人口・世帯数と年齢3区分別人口割合

| | | | |
|----------------|---------|----------|----------|
| 総人口 | 22,601人 | 世帯数 | 10,073世帯 |
| 14歳以下(年少)人口 | 3,040人 | 年少人口割合 | 13.5% |
| 15～64歳(生産年齢)人口 | 14,805人 | 生産年齢人口割合 | 65.5% |
| 65歳以上(老年)人口 | 4,756人 | 高齢化率 | 21.0% |

5歳刻み人口グラフ



資料：川崎市の統計情報「町丁別世帯数・人口」及び「町丁別年齢別人口」(令和5(2023)年9月末日現在)

3 地区の地図



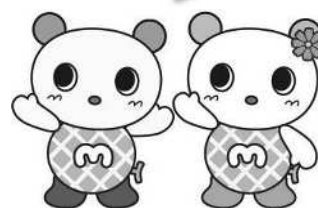
4 社会資源一覧

| この地区を支える団体 | | |
|--------------------|---|-----------------------|
| 町内会・自治会 | 神木本町自治会、新神木自治会、平日影自治会 土橋町内会、宮前平グリーンハイツ自治会 宮前平ロイヤルマンション管理組合 ライオンズマンション宮前平第2管理組合 | |
| 地区社会福祉協議会 | 宮前第二地区 | |
| 民生委員児童委員協議会 | 宮前第四地区 | |
| この地区の住民が相談できるところ | | |
| 高齢者 | 地域包括支援センタービオラ宮崎 レストア川崎地域包括支援センター | |
| 障害者 | 地域相談支援センターポポラス | |
| 子ども | 中部児童相談所（高津区） 川崎西部地域療育センター 宮前区保育・子育て総合支援センター | |
| この地区の子どもたちが通う学校 | | |
| 小学校 | 平小学校、富士見台小学校、土橋小学校 | |
| 中学校 | 向丘中学校、宮前平中学校 | |
| この地区にある主な施設 | | |
| 子ども 関係施設 | 病児保育施設 | エンゼル宮前 |
| | 地域子育て 支援センター | 地域子育て支援センター つちはし |
| | | 地域子育て支援センター ページブル |
| | | 地域子育て支援センター たつのこのこ |
| 保育・子育て 総合支援センター | 宮前区保育・子育て 総合支援センター | |

この地区で行われている一部の活動は、宮前区ご近所情報サイト『みやまえご近助さん』に載っています。



※使い方は
P.74 を見てね！



(3) 有馬鷺沼地区



1 地区の概況

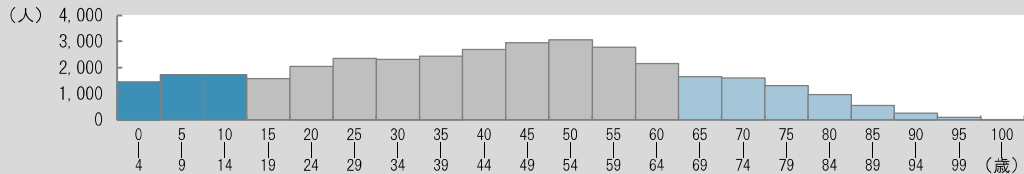
| | |
|--------|--|
| 対象の町丁名 | 有馬1～9丁目、鷺沼1～4丁目 |
| 地理的特徴等 | 区の南部に位置し、横浜市都筑区に隣接する。西端に東名高速道路、中央部に田園都市線と国道246号線が横断する。 |
| 住環境 | 鷺沼駅周辺が商業地で周囲は住宅地。住宅地に向かって急勾配となっている。バス通り沿いにマンションや住宅街が続き、わずかに果樹園もある。 |
| 交通 | 急行停車駅の鷺沼駅があり、区内を結ぶバス路線に加え、武蔵小杉駅や横浜市内への路線もある。 |

2 地区の統計データ

人口・世帯数と年齢3区分別人口割合

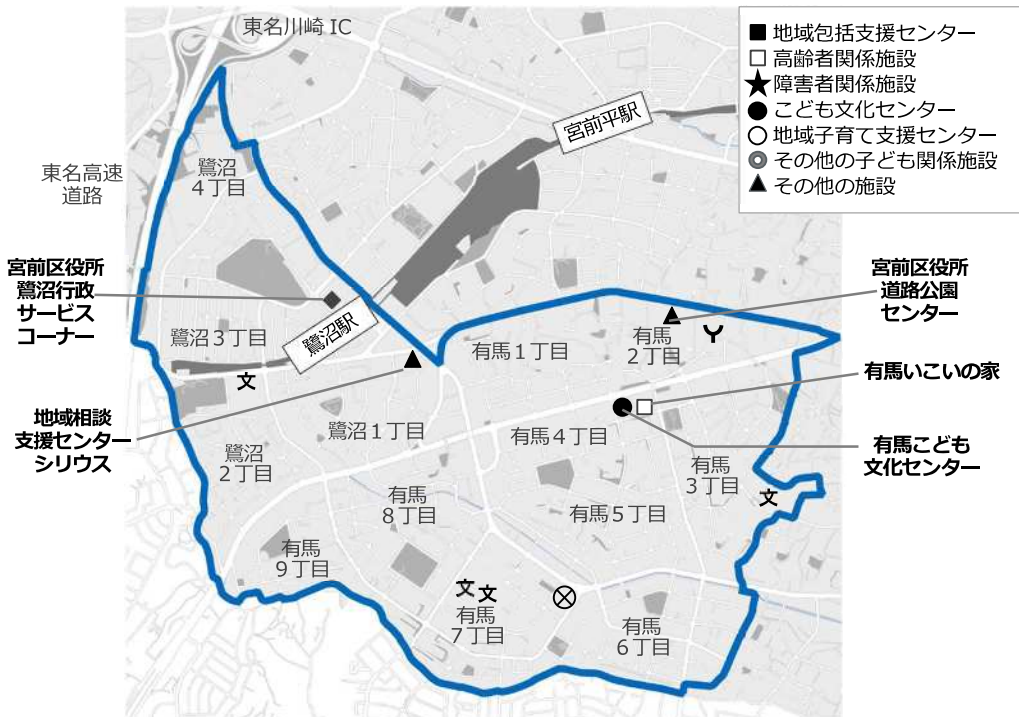
| | | | |
|----------------|---------|----------|----------|
| 総人口 | 35,708人 | 世帯数 | 16,741世帯 |
| 14歳以下(年少)人口 | 4,905人 | 年少人口割合 | 13.7% |
| 15～64歳(生産年齢)人口 | 24,386人 | 生産年齢人口割合 | 68.3% |
| 65歳以上(老年)人口 | 6,417人 | 高齢化率 | 18.0% |

5歳刻み人口グラフ



資料：川崎市の統計情報「町丁別世帯数・人口」及び「町丁別年齢別人口」(令和5(2023)年9月末日現在)

3 地区の地図

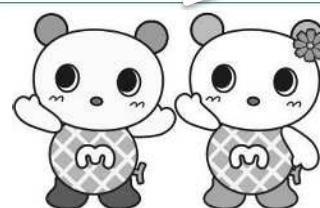


4 社会資源一覧

| この地区を支える団体 | | |
|------------------|---------------|---|
| 町内会・自治会 | | 有馬町会、鷺沼町会 市営有馬第3住宅自治会 |
| 地区社会福祉協議会 | | 有馬鷺沼地区 |
| 民生委員児童委員協議会 | | 宮前第二地区 |
| この地区の住民が相談できるところ | | |
| 高齢者 | | 富士見プラザ地域包括支援センター レストア川崎地域包括支援センター |
| 障害者 | | 地域相談支援センターポポラス 地域相談支援センターシリウス |
| 子ども | | 中部児童相談所（高津区） 川崎西部地域療育センター 宮前区保育・子育て総合支援センター |
| この地区の子どもたちが通う学校 | | |
| 小学校 | | 鷺沼小学校、宮崎小学校、西有馬小学校 |
| 中学校 | | 有馬中学校、宮崎中学校 |
| この地区にある主な施設 | | |
| 主な 公的施設 | 区役所等 | 宮前区役所道路公園センター 宮前区役所鷺沼行政サービスコーナー |
| | 警察署・消防署 | 有馬交番 宮崎出張所 |
| | 高校 | 神奈川県立川崎北高等学校 神奈川県立高津養護学校 川崎北分教室 高等部 |
| 高齢者関係施設 | | 有馬いこいの家 |
| 障害者 関係施設 | 障害者支援 施設 | 地域相談支援センター シリウス |
| 子ども 関係施設 | こども文化 センター | 有馬こども文化センター |

この地区で行われている一部の活動は、宮前区ご近所情報サイト『みやまえご近助さん』に載っています。

※使い方は
P.74 を見てね！



(4) 東有馬地区



1 地区の概況

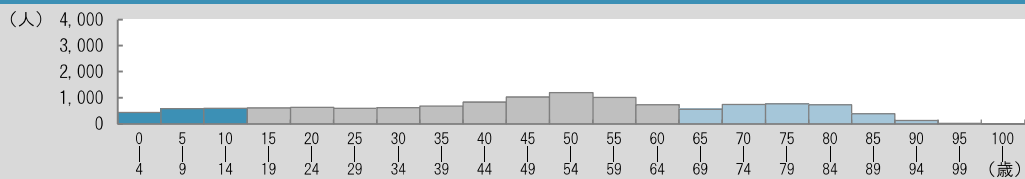
| | |
|--------|---|
| 対象の町丁名 | 東有馬 1～5 丁目 |
| 地理的特徴等 | 区の南東部に位置し、横浜市都筑区に隣接する。 |
| 住環境 | 有馬川沿いの平地と傾斜地からなる地区で、農地もある。長年住む人の戸建て住宅に加え、新築の戸建てやマンション、県営・市営住宅もある。 |
| 交通 | 鷺沼駅や武蔵小杉駅などへのバス路線がある。横浜市営地下鉄北山田駅が徒歩圏の地域もある。 |

2 地区の統計データ

人口・世帯数と年齢 3 区分別人口割合

| | | | |
|-------------------|----------|----------|----------|
| 総人口 | 12,921 人 | 世帯数 | 6,207 世帯 |
| 14 歳以下 (年少) 人口 | 1,616 人 | 年少人口割合 | 12.5% |
| 15～64 歳 (生産年齢) 人口 | 7,938 人 | 生産年齢人口割合 | 61.4% |
| 65 歳以上 (老年) 人口 | 3,367 人 | 高齢化率 | 26.1% |

5 歳刻み人口グラフ



資料：川崎市の統計情報「町丁別世帯数・人口」及び「町丁別年齢別人口」(令和 5 (2023) 年 9 月末日現在)

3 地区の地図



4 社会資源一覧

| この地区を支える団体 | |
|-------------|--|
| 町内会・自治会 | 県営有馬団地自治会、市営有馬第1住宅自治会 市営有馬第2団地自治会、東有馬町会 |
| 地区社会福祉協議会 | 東有馬地区 |
| 民生委員児童委員協議会 | 宮前第六地区 |

| この地区の住民が相談できるところ | |
|------------------|---|
| 高齢者 | 富士見プラザ地域包括支援センター |
| 障害者 | 地域相談支援センターシリウス |
| 子ども | 中部児童相談所（高津区） 川崎西部地域療育センター 宮前区保育・子育て総合支援センター |

| この地区の子どもたちが通う学校 | |
|-----------------|------------------------------|
| 小学校 | 宮崎小学校、有馬小学校 西野川小学校、南野川小学校 |
| 中学校 | 宮崎中学校、有馬中学校 野川中学校 |

| この地区にある主な施設 | | |
|-------------|----------------|---------------------|
| 主な 公的施設 | 文化施設等 | 有馬・野川生涯学習支援施設（アリーナ） |
| | 医療機関 | 宮前休日急患診療所 |
| 障害者 関係施設 | 障害者支援 施設 | れいんぼう川崎 |
| | 地域活動支援 センター | 宮前ふれあいの家 |

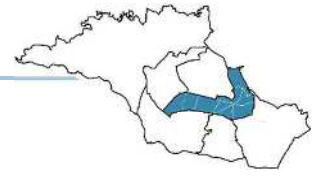
この地区で行われている一部の活動は、宮前区ご近所情報サイト『みやまえご近助さん』に載っています。



※使い方は
P.74 を見てね！



(5) 宮前第三地区



1 地区の概況

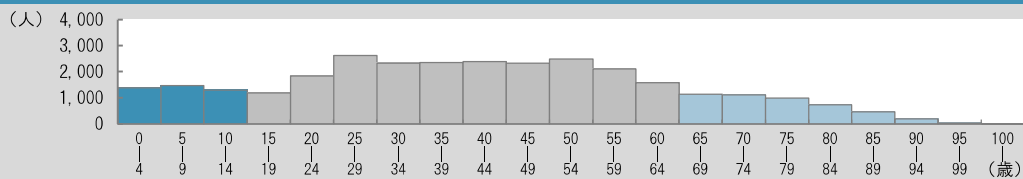
| | |
|--------|---|
| 対象の町丁名 | 小台1～2丁目、馬絹1～6丁目、宮崎（大塚町内会地域） |
| 地理的特徴等 | 区の中央部から東部に位置する。中央部で国道246号線と尻手黒川道路が交差している。 |
| 住環境 | 駅に近い住宅地で坂道が多い。主要道路の交通量は多いが、少し入ると住宅街。長年住む人の戸建て住宅に加え、マンションも多く建っている。 |
| 交通 | 鷺沼駅、宮前平駅、宮崎駅が最寄り駅。各方面へのバス路線がある。 |

2 地区の統計データ

人口・世帯数と年齢3区分別人口割合 ※大塚町内会地域以外の宮崎地区を含む

| | | | |
|----------------|---------|----------|----------|
| 総人口 | 30,090人 | 世帯数 | 15,078世帯 |
| 14歳以下（年少）人口 | 4,149人 | 年少人口割合 | 13.9% |
| 15～64歳（生産年齢）人口 | 21,257人 | 生産年齢人口割合 | 70.8% |
| 65歳以上（老年）人口 | 4,684人 | 高齢化率 | 15.3% |

5歳刻み人口グラフ



資料：川崎市の統計情報「町丁別世帯数・人口」及び「町丁別年齢別人口」（令和5（2023）年9月末日現在）

3 地区の地図



4 社会資源一覧

| この地区を支える団体 | | |
|------------------|-----------------|--|
| 町内会・自治会 | | 大塚町内会、小台町内会、馬絹町内会 |
| 地区社会福祉協議会 | | 宮前第三地区 |
| 民生委員児童委員協議会 | | 宮前第三地区、宮前五地区 |
| この地区の住民が相談できるところ | | |
| 高齢者 | | 宮前平地域包括支援センター |
| 障害者 | | 地域相談支援センターポポラス |
| 子ども | | 中部児童相談所（高津区） |
| | | 川崎西部地域療育センター 宮前区保育・子育て総合支援センター |
| この地区の子どもたちが通う学校 | | |
| 小学校 | | 土橋小学校、宮崎小学校、梶ヶ谷小学校（高津区） 西梶ヶ谷小学校（高津区）、宮崎台小学校 |
| 中学校 | | 宮前平中学校、宮崎中学校 |
| この地区にある主な施設 | | |
| 主な 公的施設 | 警察署・消防署 | 鷺沼駅前交番、馬絹交番 |
| | 文化施設等 | 宮前地区会館（まじわーる宮前） 川崎市青少年の家 |
| 子ども 関係施設 | 地域子育て 支援センター | 地域子育て支援センター花の台 |
| | 児童福祉施設 | まぎぬ児童家庭支援センター |
| | 児童養護施設 | 川崎愛児園 |
| 障害者 関係施設 | 障害者福祉 拠点施設 | まじわーる宮前 |

この地区で行われている一部の活動は、宮前区ご近所情報サイト『みやまえご近助さん』に載っています。

※使い方は
P.74 を見てね！



(6) 宮前中央地区



1 地区の概況

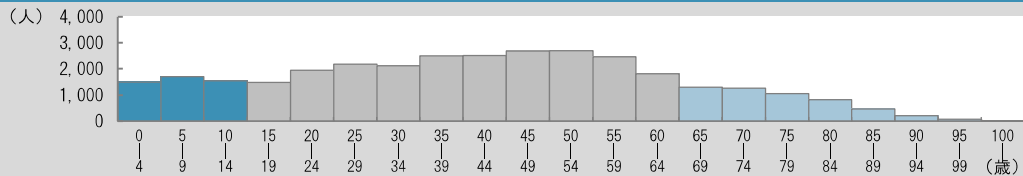
| | |
|--------|------------------------------------|
| 対象の町丁名 | 宮崎（大塚町内会地域を除く）、宮崎1～6丁目、宮前平1～3丁目 |
| 地理的特徴等 | 宮前区の中央部から北東部に広がる地域。北東側は高津区に隣接している。 |
| 住環境 | 戸建てやマンションが建ち並び住宅地で坂道が多い。 |
| 交通 | 宮崎台駅、宮前平駅が最寄り駅。 |

2 地区の統計データ

人口・世帯数と年齢3区分別人口割合 ※宮崎地区は宮前第三地区で集計しています

| | | | |
|----------------|---------|----------|----------|
| 総人口 | 32,413人 | 世帯数 | 15,201世帯 |
| 14歳以下（年少）人口 | 4,762人 | 年少人口割合 | 14.7% |
| 15～64歳（生産年齢）人口 | 22,439人 | 生産年齢人口割合 | 69.2% |
| 65歳以上（老年）人口 | 5,212人 | 高齢化率 | 16.1% |

5歳刻み人口グラフ



資料：川崎市の統計情報「町丁別世帯数・人口」及び「町丁別年齢別人口」（令和5（2023）年9月末日現在）

3 地区の地図



4 社会資源一覧

| この地区を支える団体 | | |
|------------------|---|-----------------------------|
| 町内会・自治会 | 小台町内会、花の台町内会、馬絹町内会、宮崎町内会 宮崎6丁目自治会 | |
| 地区社会福祉協議会 | 宮前中央地区 | |
| 民生委員児童委員協議会 | 宮前第三地区、宮前五地区 | |
| この地区の住民が相談できるところ | | |
| 高齢者 | 地域包括支援センターピオラ宮崎 宮前平地域包括支援センター | |
| 障害者 | 地域相談支援センターポポラス | |
| 子ども | 中部児童相談所（高津区） 川崎西部地域療育センター 宮前区保育・子育て総合支援センター | |
| この地区の子どもたちが通う学校 | | |
| 小学校 | 宮崎台小学校、富士見台小学校、宮前平小学校 | |
| 中学校 | 宮前平中学校 | |
| この地区にある主な施設 | | |
| 主な 公的施設 | 区役所等 | 宮前区役所 |
| | 警察署・消防署 | 宮前平駅前交番、宮前警察署 宮前消防署 |
| | 文化施設等 | 宮前市民館、宮前図書館 |
| | その他 | 宮前区社会福祉協議会 宮前区あんしんセンター |
| 高齢者関係施設 | 宮前老人福祉センター | |
| 障害者 関係施設 | 地域活動支援 センター | トウランプラン宮前 |
| 子ども 関係施設 | こども文化 センター | 宮崎こども文化センター 宮前平こども文化センター |
| | 地域子育て 支援センター | 地域子育て支援センター みやざき |

この地区で行われている一部の活動は、宮前区ご近所情報サイト『みやまえご近助さん』に載っています。

※使い方は
P.74 を見てね！



(7) 向丘地区



1 地区の概況

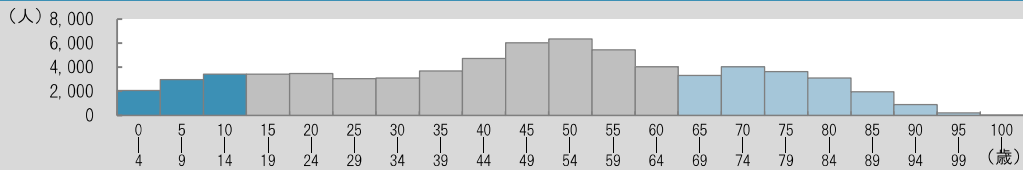
| | |
|--------|---|
| 対象の町丁名 | 犬蔵1～3丁目、五所塚1～2丁目、潮見台、神木本町1～5丁目、白幡台1～2丁目、菅生ケ丘、菅生1～6丁目、平1～6丁目、南平台、初山1～2丁目、水沢1～3丁目 |
| 地理的特徴等 | 区の北部から西部に位置する。高津区・多摩区・麻生区と横浜市青葉区に隣接する広い地域。東部には東名高速道路が縦断する。 |
| 住環境 | 概ね、丘陵地の住宅街。区内で唯一の市街化調整区域があるなど農地や緑地が比較的多く残されており、広い公園などもある。 |
| 交通 | 溝の口駅、梶が谷駅、宮崎台駅、宮前平駅、向ヶ丘遊園駅、登戸駅、新百合ヶ丘駅、あざみ野駅など各方面へのバスが通っている。 |

2 地区の統計データ

人口・世帯数と年齢3区分別人口割合

| | | | |
|----------------|---------|----------|----------|
| 総人口 | 69,082人 | 世帯数 | 31,816世帯 |
| 14歳以下(年少)人口 | 8,498人 | 年少人口割合 | 12.3% |
| 15～64歳(生産年齢)人口 | 43,372人 | 生産年齢人口割合 | 62.8% |
| 65歳以上(老年)人口 | 17,212人 | 高齢化率 | 24.9% |

5歳刻み人口グラフ



資料：川崎市の統計情報「町丁別世帯数・人口」及び「町丁別年齢別人口」(令和5(2023)年9月末日現在)

3 地区の地図



4 社会資源一覧

| この地区を支える団体 | |
|-------------|--|
| 町内会・自治会 | 一の丸自治会、犬蔵自治会、エクセル宮前平自治会、グリーンコーポ多摩プラザ管理組合、グリーンヒル宮前平住民の会、五所塚町内会、コスモ宮前平コートフォルム自治会、市営清水台団地自治会、市営高山団地自治会、市営鷲ヶ峰住宅自治会、神木本町自治会、白幡台自治会、白幡台住宅管理組合、菅生ヶ丘自治会、菅生住宅自治会、菅生台自治会、菅生団地自治会、蔵敷自治会、蔵敷団地親和会、平風久保町内会、平住宅自治会、平高山自治会、平日影自治会、平日向自治会、長尾住宅管理組合、長沢自治会、南平自治会、南平台公社住宅自治会、南平台自治会、南平第2団地自治会、南平町内会、南平ハイツ自治会、南平みどり会、初山自治会、初山住宅自治会、初山団地自治会、稗原自治会、稗原団地自治会、南菅生自治会、宮前平パークハイツ自治会、向ヶ丘コーポビアンエーズ自治会、向ヶ丘第五次自治会、向ヶ丘遊園センチュリータウン自治会、ライオンズマンション宮前平ヒルズ管理組合、鷲ヶ峰西住宅自治会 |
| 地区社会福祉協議会 | 向丘地区 |
| 民生委員児童委員協議会 | 向丘第一地区、向丘第二地区 |

| この地区の住民が相談できる場所 | |
|-----------------|---|
| 高齢者 | レストア川崎地域包括支援センター、フレンド神木地域包括支援センター、鷲ヶ峰地域包括支援センター、地域包括支援センタービオラ宮崎 |
| 障害者 | 地域相談支援センターポポラス、地域相談支援センターれもん |
| 子ども | 中部児童相談所（高津区） 川崎西部地域療育センター 宮前区保育・子育て総合支援センター |

| この地区の子どもたちが通う学校 | |
|-----------------|---|
| 小学校 | 犬蔵小学校、菅生小学校、向丘小学校、稗原小学校、平小学校、白幡台小学校、南原小学校（高津区）、長尾小学校（多摩区） |
| 中学校 | 犬蔵中学校、菅生中学校、平中学校、向丘中学校 |

| この地区にある主な施設 | | |
|-------------|-------------|--|
| 主な 公的施設 | 区役所等 | 宮前区役所向丘出張所 |
| | 警察署・消防署 | 神木交番、蔵敷交番 犬蔵出張所、菅生出張所、向丘出張所 |
| | 文化施設等 | 宮前スポーツセンター 宮前市民館菅生分館 |
| 高齢者関係施設 | | 白幡台いこいの家、平いこいの家 鷲ヶ峰いこいの家 |
| 障害者 関係施設 | 地域相談支援センター | 地域相談支援センターれもん |
| | 障害者支援施設 | 障がい者支援施設みずさわ |
| | 地域活動支援センター | アトリエ言の葉 |
| 子ども 関係施設 | こども文化センター | 白幡台こども文化センター 菅生こども文化センター 蔵敷こども文化センター 平こども文化センター |
| | 地域子育て支援センター | 地域子育て支援センターたいら |
| | 地域療育センター | 川崎西部地域療育センター |

この地区で行われている一部の活動は、宮前区ご近所情報サイト『みやまえご近助さん』に載っています。



※使い方は
P.74 を見てね！



6 第6期計画の振り返り

(1) 第6期計画の重点項目の取組状況

第6期計画では、3つの基本方針を重点項目に掲げ、区民等とともに取組を進めてきました。

1 ご近助で支え合う地域づくり

○地域福祉活動の現場への訪問を通じた地ケアへの理解と共感を広げる研修の開催

コロナ禍で地域活動や対面での交流がしにくい状況の中、地区担当職員が活動の継続を支援するとともに、コロナ後を見据えて区役所全体で地ケアを学び、現場で気づき、支援につなぐ研修を行いました。

○宮前区ご近所情報サイト「みやまえご近助さん」の情報更新

約220のコミュニティカフェ・サロン、子育てサークルの開催状況を個別に確認し更新することにより、コロナ禍で希薄になりがちな地域とのつながり・きっかけづくりに努めました。また、町内会・自治会の活動や地域活動を取材するご近助コンシェルジュの記事も掲載するなど地域活動の情報発信を積極的に行いました。

○宮前区地域包括ケアシステム推進イベントの開催

地域で認知症の当事者や家族を見守るにはどのようにしたらよいか考えるきっかけをつくる講演会や、さまざまな疑似体験を通して、異なった立場を体感するイベントを開催することで、区民の地域包括ケアシステムへの意識の醸成を図りました。

○宮前区オリジナル体操・ダンスの制作、普及啓発

コロナ禍で地域での交流の機会が減り、運動不足で筋力低下や健康への影響が懸念されるなか、子どもから高齢者まで誰でも気軽に取り組める宮前区オリジナル体操・ダンスを制作しました。さらに普及啓発用に、様々な施設・団体の協力を得て、動画を制作するとともに、区役所横市民広場で、来庁者、地域住民、ヘルスパートナー（運動普及推進員）、近隣の保育園児と一緒に体操・ダンスをするイベントを開催し、健康づくり・地域の多世代交流につなげました。

宮前区オリジナル だいすきメロコス体操



YouTubeで公開中



2 理解と共感を広げる情報発信の充実

○地域包括ケアシステムについて子どもが分かりやすく学べるマンガの作成及び配布による啓発

地域包括ケアシステムにおける「地域のつながりの大切さ」や「認知症」、「福祉マーク」をテーマにした既存のマンガに加え、新たに「宮前区メロコス体操・ダンス」を広めるテーマにするとともに、公園体操を通じて、人と人、人と地域とのつながりの楽しさを伝えるマンガを作成し、区内全校の小・中・高校生に配布しました。

○生活に不安を抱える高齢者や家族が気軽に相談でき、情報を得られる場の提供

市民館ギャラリーや向丘出張所で「高齢者の生活と介護に関する展示」を実施し、地域包括支援センターによる相談窓口を設けるとともに、宮前区食生活改善推進員が栄養バランスの良い食事を展示・アドバイスするなど、多くの関係課・関係機関が連携し、高齢者に関連する情報の周知を行いました。

○地域みまもり支援センター活用ガイドブックの作成

支援が必要な場合や困りごと、心配ごとの相談先を広く周知するため、地域みまもり支援センターの各課がどんな仕事をしているか、分かりやすく紹介する冊子を作成しました。また、民生委員児童委員や町内会・自治会、子ども文化センターなど、地域で活動している団体に対し、当該ガイドブックを活用した出前講座を実施し、地域包括ケアシステムの理解や支え合いの必要性を周知しました。



3 区民・事業者・行政などの連携による地域福祉の向上

○宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議の開催

学識経験者及び関係団体の代表者等で構成する「宮前区地域包括ケアシステムネットワーク会議」において、地域包括ケアシステムに関する取組の意見交換や課題の共有等を行うとともに、委員の活動報告を通じた所属団体の連携を促進しました。

○民生委員児童委員、保護司会等との連携強化

区役所ロビーや市民館ギャラリー等での展示や地域での各種イベントを通じて、チラシ等を使って、民生委員児童委員、保護司会等の活動内容や各種団体の役割を積極的に広報し、理解を広げることにより、それぞれの委員が活動しやすい環境づくりに努めました。

(2) 第6期計画全体の取組状況

第6期計画全体の重点項目以外の取組状況について、3つの基本目標ごとに振り返ります。

基本目標1 ご近助で「ささえあう」地域づくり

新型コロナウイルス感染症により対面での交流が難しい状況ではありましたが、地域住民等が継続・再開している活動の広報や開催を支援することで、ご近助で「ささえあう」地域づくりの実現を進めました。

<具体例1> 食育を進めます

地域への出前講座、食育キャンペーン等のイベントでの料理展示や高齢者相談会、食育活動団体の活動紹介を通じて、子どもから高齢者までの全ライフステージの区民を対象に、関係機関と連携した食育の普及啓発活動を実施しました。

<具体例2> サロンやカフェなど、地域の居場所づくりを進めます

チラシ、情報冊子、Webサイト等でサロン・カフェや団体の活動状況を公開するなどの情報発信を行いました。また、新型コロナウイルス感染症による活動状況の変化、変更等を把握し、イベント等集会時の感染拡大防止の啓発を行うとともに、地域活動の制約を受けるなか、コミュニティカフェ等の開催を支援し、地域の居場所づくりを進めました。

【基本目標1の概要】

| 基本方針 | | 第6期計画（令和3年度～令和5年度）の取組 |
|------|---------------------------|--|
| 1 | 誰もが参加できる健康・いきがいづくり | 1 健康づくり・介護予防を進めます |
| | | 2 食育を進めます |
| 2 | 様々な団体や区民が地域で活動し、支え合う地域づくり | 3 子育てしやすい地域づくりを進めます |
| | | 4 高齢者の仲間づくりを進めます |
| | | 5 区民の多様な活動が地域に広がります |
| 3 | 安心して参加できる活動・交流の場づくり | 6 サロンやカフェなど、地域の居場所づくりを進めます |
| | | 7 育児不安を解消し、子育て支援活動参加のきっかけづくりを進めます |
| | | 8 子どもの健やかな成長につながる外遊びの場をつくれます |
| | | 9 精神障害者家族の学びの機会をつくれます |
| | | 10 しあわせを呼ぶコンサートの開催を通じて、障害者との交流の場づくりを進めます |
| 4 | ご近助で支え合う地域づくり 重点項目 | 11 ご近助で支え合う地域づくりを進めます |

基本目標2 支援に「つながる」きっかけづくり

福祉サービスや地域の情報、各種イベントなどに関する情報をチラシやリーフレット、マンガ等で周知したほか、ホームページやSNSを活用し積極的な情報発信を行いました。また、支援を必要とする人が幅広い福祉サービスをスムーズに受けられるよう、連絡会議等の実施により関係機関と見守り、支援体制の充実を図りました。さらに、より充実した地域活動が行えるよう、各種講座を開催し地域活動の担い手となる人材の育成を図るなど、支援に「つながる」きっかけづくりを行いました。

※ホームページ・SNS等を活用した情報発信は P.74 参照

<具体例1> ニーズに応じた相談・支援を通じて、高齢者・障害者に寄り添います

いつまでも健やかに住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、地域包括支援センターや障害者相談支援センター等と連携し、様々な面から総合的に支える相談支援体制の充実を行いました。

<具体例2>

ボランティアを増やし、安心して子育てでき、高齢者が健康で暮らせる地域をつくります

生涯を通じた健康づくりを自助・互助による地域ぐるみで行うことを目的としたボランティア養成講座を開催しました。講座では、地域で自主的に活動に取り組むヘルスパートナー（運動普及推進員）やヘルスメイト（食生活改善推進員）へのつながりを行ったほか、民生委員児童委員の活動の紹介なども行いました。

また、乳幼児健診等の子育て支援事業で日々活動している、うさぎボランティア（すくすく子育てボランティア）が地域で子育てのサポートができる体制を整えるため、学習会や連絡会などを行いました。

<具体例3> 民生委員児童委員の協力により、高齢者等の見守りを行います

民生委員児童委員の協力のもと、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の世帯状況や生活状況を把握し、見守りが必要な対象者については、民生委員児童委員が定期的に自宅を訪問するなど、見守り体制を整えました。

<具体例4> 育児不安や児童虐待の兆候を早期に把握し、連携して地域での支援を進めます

要保護児童対策地域協議会において、代表者会議、実務者会議、担当による個別支援会議をそれぞれ開催し、各子育て支援団体、従事者と協働し、児童虐待の早期発見・対応についての連携強化を図り、地域での子育て支援・児童福祉の実現を進めました。

【基本目標2の概要】

| 基本方針 | | 第6期計画（令和3年度～令和5年度）の取組 |
|------|-------------------------------------|---|
| 1 | 理解と共感を広げる 情報発信の充実 重点項目 | 12 地域のつながり・支え合いの大切さを伝え、理解と共感を広げます 13 子育て情報を発信し、安心して子育てができるまちづくりを進めます 14 高齢者が安心して生活していくための制度や知識の普及啓発を進めます |
| 2 | 相談を通じた不安・困りごとの軽減 | 15 子ども・子育てに関する不安を軽減します 16 保育ニーズに応じた相談・支援を通じて、子どもの預け先を探す保護者に寄り添います 17 ニーズに応じた相談・支援を通じて、高齢者・障害者に寄り添います 18 ペットの飼養、ネズミや衛生害虫に関する相談に対応し、住環境を守ります |
| 3 | 支援につなぐ人材・ネットワークづくり | 19 認知症サポーターを増やし、安心して暮らせる地域をつくります 20 認知症等の早期診断・早期対応に向けた支援体制をつくります 21 徘徊高齢者等SOSネットワークで、安全を確保し家族等を支えます 22 ボランティアを増やし、安心して子育てでき、高齢者が健康で暮らせる地域をつくります 23 小・中学生の職場体験学習等を通じて、自分ができることを考えるきっかけをつくります |
| 4 | 支援が必要な人への見守り、支え合いの推進 | 24 民間業者と連携した「川崎市地域見守りネットワーク」による見守りを行います 25 民生委員児童委員の協力により、高齢者等の見守りを行います 26 生活保護受給世帯の小・中学生に対し、学習支援への参加を呼びかけます 27 災害時に援護を必要とする人に対し、互助による避難体制づくりを進めます |
| 5 | 虐待への適切な対応 | 28 育児不安や児童虐待の兆候を早期に把握し、連携して地域での支援を進めます 29 高齢者・障害者虐待に関する相談等に連携して対応します |

基本目標3 区民・事業者・行政等が「一体となる」ネットワークづくり

区民、保健・福祉に関わる各種団体や連絡会、町内会・自治会、区社会福祉協議会、民生委員児童委員、民間事業者等の地域における多様な主体とのネットワークづくりを進め、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを行いました。

<具体例1> 障害者（児）が暮らしやすい地域づくりを連携して進めます

宮前区自立支援協議会を開催して地域課題の抽出等を行うとともに、相談支援事業所連絡会を開催して地域の事業所等の相談支援体制強化に取り組みました。

<具体例2> 在宅介護等に多職種が連携して取り組み、情報発信を行います

安心して在宅で介護・福祉等が一体となったケアが受けられるよう、地域包括支援センターや宮前区介護支援専門員連絡会と研修会を実施するなど多職種間で連携するとともに、地域ケア会議等で情報発信しました。

【基本目標3の概要】

| 基本方針 | | 第6期計画（令和3年度～令和5年度）の取組 |
|------|---|--------------------------------------|
| 1 | 保健・福祉分野での協働・連携の推進 | 30 障害者（児）が暮らしやすい地域づくりを連携して進めます |
| | | 31 在宅介護等に多職種が連携して取り組み、情報発信を行います |
| 2 | 区民・事業者・行政などの連携による地域福祉の向上 重点項目 | 32 地域福祉に関わる団体等が連携して、区民への互助意識の浸透を図ります |
| | | 33 高齢者が暮らしやすい地域づくりを連携して進めます |
| | | 34 民生委員児童委員や保護司等の地域福祉活動への理解を広げます |
| | | 35 地域防災に関わる団体等が連携して、地域防災力の強化を図ります |
| | | 36 小・中学校入学時など、新しい環境での学習や生活に適応しやすくします |
| | | 37 地域の事業者団体等と連携し、地域福祉に関する情報発信を行います |
| | | 38 社会福祉協議会と連携して、地域福祉の取組を進めます |

7 第7期計画につなぐ視点

これまでの様々な調査等の結果から、どういった課題が見えてきたか、また、計画に位置付けられた重点項目に対し、どのような取組が行われたかをまとめ、第7期の計画策定につなぐ視点を整理しました。

視点1 地域住民同士の交流の必要性、多様な主体がつながることの大切さ

- ・「第6回川崎市地域福祉実態調査」

「地域の生活課題に関する調査（宮前区）」で、近所づきあいや地域住民同士の交流の必要性について、交流の必要性を認識している人は44.9%、地域福祉を推進するため市民が取り組むこととして、「家族以外の人で、身近に困りごとなどを相談できる人を増やすこと」が市全体で最も高く38.4%。

「地域福祉活動に関する調査」で、地域のつながりの希薄化を感じている団体があった。また、防災に関する取組について、地域の方同士が助け合えるような働きかけが求められている。

- ・宮前区地域包括ケアシステム推進イベントのアンケートで、取組を継続してもらいたいとの回答があり、参加する当事者や支援者の横のつながりを深める機会の提供が求められている。



- お互いに支え合う地域づくりに向けて、近所との日頃からの交流や地域住民・団体等の多様な主体が分野を越えてつながることが大切であることを広めていく

視点2 必要な方に情報が届くこと、地域の情報を知るきっかけづくりの大切さ

- ・「第6回川崎市地域福祉実態調査」

「地域の生活課題に関する調査（宮前区）」で、心配ごとの解決に必要なと思われることについて、「保健や福祉に関する情報を簡単に入手できること」が38.4%、地域福祉を進めるため行政が取り組むこととして、「福祉サービスを適切に利用することができるような評価や内容の情報開示」が39.1%。

「地域福祉活動に関する調査」で、新型コロナウイルス感染症をきっかけに良い情報が来てもニーズがあるところに渡せていないという回答があった。また、若い世代の福祉に関する関心が低いことが課題となっている。

- ・地域の会議等で情報収集した意見の中で、調べなくても地域の情報や活動が分かるようになど効果的な広報が求められている。



- 引き続き、適切な情報発信により心配ごとの解決や福祉サービスにつなげるとともに、地域のつながりの大切さの理解を広げていく

視点3 地域福祉活動に関わる人材の育成や参加による安全・安心に暮らし続けられる地域づくり

- ・「第6回川崎市地域福祉実態調査」

「地域の生活課題に関する調査（宮前区）」で、地域福祉を進めるため行政が取り組むこととして、「ボランティアや地域で活動する地域福祉を担う人材の育成」が30.6%となっている一方、地域活動やボランティア活動に参加したことがない人が44.0%。また、参加したことがない人の中で「きっかけがあれば（参加する）」と回答している人は43.7%。

「地域福祉活動に関する調査」で、活動を行う中で困っていることとして、新たなスタッフの確保や高齢化が挙げられている。また、活動に協力してくれていた人が転職してしまうなどの回答もあった。

- ・宮前区地域包括ケアシステム推進講演会の参加者アンケートにより、認知症について、地域住民への知識・理解を進め、地域で支える基盤を作ることが求められている。



- 支援が必要な人や家族が支援につながるよう人材育成・ネットワークづくりを進めていくとともに、地域の活動への参加を促していく

視点4 新型コロナウイルス感染症による地域のつながりに対する影響

- ・「第6回川崎市地域福祉実態調査」

「地域の生活課題に関する調査（宮前区）」で、近所づきあいや地域住民同士の交流の必要性について、「困ったときは当然助け合うべきだが、日ごろの交流は面倒なのであまりしたくない」は44.8%で前回調査から7.6ポイント増加。

「地域福祉活動に関する調査」で、活動を行う中で困っていることとして、新型コロナウイルス感染症などを踏まえた対応が必要となっているという回答があった。また、新型コロナウイルス感染症をきっかけに、休止したままになっている活動がある。

- ・地域の会議等で情報収集した意見で、コミュニティサロン・カフェについて、コロナ禍前に比べて参加者が集まらない状況にあるという意見があった。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により止まっていた地域活動について、活動が再開した町会・団体等の集まりや取組に区職員が積極的に参加し支援しているが、子ども関係の地域活動は比較的再開されてきている一方、高齢者関係の活動はコロナ禍前の水準に戻っていない所が多い。



- 新型コロナウイルス感染症により中断・中止した活動や取組が再開される際の支援や参加促進を関係機関・団体と連携して進めていく

これらの視点から取組内容を精査し、第7期地域福祉計画においても地域福祉の推進に取り組みます。

Web・SNS等を活用して地域福祉の情報を配信しています。

宮前区ご近所情報サイト

「みやまえご近助さん」はご近所でのゆるやかなつながりづくりを応援するサイトです

- ・町内会・自治会・老人クラブなどの地域の活動団体
- ・イベントや地域の施設・団体の活動情報
- ・保育園・公園・高齢者施設・医療機関など地域にある施設情報
- ・地域の統計情報



などの情報を地域ごとに調べることができます。身近な地域の情報を知ることにより、気軽に地域のイベントや活動に参加してもらいたいという思いを込めたサイトです。



まずはサイトを CHECK!

みやまえご近助さん

検索



宮前区地域みまもり支援センター公式SNS

「地域のこども子育て情報」を手に入れよう

宮前区のこども・子育てに関するセミナーや各種イベント情報を配信しています。



「かわさきアプリ」でいろいろな情報を手に入れよう

川崎市では子育て・防災・イベント・ごみ分別など生活に必要な情報をお届けするツールとして「かわさきアプリ」を配信しています。

かわさきアプリ

検索

かわさきアプリの一覧

| | |
|------------------|--|
| 川崎市 LINE 公式アカウント | AI チャットボット機能による質問への回答、区役所の「窓口混雑情報」・「ごみの分別」などの情報検索 |
| 新かわさき子育てアプリ | 予防接種や子どもの成長記録等の管理、子どもの健診の時期や必要な手続等の情報を通知でお知らせ、子育て関連施設の検索 |
| かわさき防災アプリ | 各種災害情報・気象警報・開設避難場所への誘導などの情報配信、ハザードマップの確認 |
| 川崎ごみ分別アプリ | ごみの分別検索・日ごとの収集品目・3R クイズなどの情報配信 |
| かわさきイベントアプリ | 行政、民間で行う市内のイベントの情報配信 |
| かわさき防犯アプリ | 市内の事件、不審者、特殊詐欺などの情報を通知でお知らせ |